

令和3年度

第2回 吉浜小学校 学校関係者評価委員会資料



< 高浜市立吉浜小学校 >

令和3年度 高浜市立吉浜小学校の取組

学校教育目標	強いからだと美しい心をもった児童を育成する。 ○考える子 ○健康な子 ○素直な子 【目指す子ども像】 「ふるさとに誇りをもち、 ともに学んで未来を拓く吉浜っ子」	〈学校の使命〉 自立した大人になるための基盤をつくる。 〈経営展望〉 自信と希望をもって中学校へ進むことができるための学びを保证する教育を追究し続ける学校である。
--------	--	--

(組織)の目指す教職員	教育的愛情 使命感・責任感	① 「自信と希望をもって中学校へ進むことができる学び」の保証を念頭に、日々の教育活動に取り組む教職員である。
	自己教育力 コミュニケーション力	② 日々研鑽を重ね、協働し、互いに高め合うことができる集団である。
	人間性・行動力	③ 教育公務員としての自覚をもち、率先垂範する教職員である。

経営展望実現に向けての現状と今年度の学校経営の柱	<p>これまで児童は、伝統文化が盛んな吉浜地区の「ひと・もの・こと」とふれ合い、知識や技能を得、自分の思いや考えを表現し、周りを思いやり、感謝する体験を通して、自分やふるさとに誇りを抱いてきた。この学習過程は、児童が将来自立し、社会で役立つ人材となるための重要な基盤になると考える。そこで今年度も、地域の方々とともに児童の育成に取り組む。これは学習指導要領が目指す、(1)知識及び技能の習得、(2)思考力、判断力、表現力の育成、(3)学びに向かう力、人間性の涵養とも合致する。</p> <p>「どのように学ぶか」という学習方法に係る方針については、引き続き授業の中で目指す子ども像に「①ともに学びを深めようとする子 ②主体的に活動できる子 ③感謝する心をもつ子」を掲げ質や深まりのある学びの過程を実現する授業研究に重点を置く。</p> <p>以上から、学校経営の柱に次の5本を設定し、PDCAサイクルを活用しながら学習指導要領の趣旨の具現化と働き方改革を両立させる学校経営展望実現を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「授業力が向上する主題研究体制の構築」、 ② 「目標管理による学年・学級経営の展開」、 ③ 「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」、 ④ 「地域の方々とともに地域愛を育む教育活動の構築」 ⑤ 「教員の業務量の適切な管理等に関する働き方改革の整備」
--------------------------	--

学校経営の柱の方針とその考え方	① 授業力が向上する 主題研究体制の構築	<p>主体的・対話的で深い学びのある授業研究を引き続き進める。主題研究推進委員会を中心にした、教職員の授業力向上を、経営展望実現の第1の柱とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の全体授業研究を中心に、主題研究をマネジメントする。 ・「教員アンケート」「児童アンケート」結果を主題研究のマネジメントと各教職員の授業改善に活用する。
	② 目標管理による学年・学校 経営の展開	<p>安定した学級経営は授業の質を高めることができる。また、授業での学びの高まりが学級を成熟させる。6年間の児童の成長を見据え、各学年末での児童のあるべき姿を目指し、児童の成長をつなげていく学年・学級経営が、経営展望実現に向けての第2の柱となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定して授業の質を高められる学級に育てるための学級経営上の課題と目標を明確にするとともに、児童にとって居心地のよい安心な場所となる学級に育てるため、現状を振り返り、手だてを更新し、P D C Aサイクルで学年・学級経営を進める。
	③ 児童の主体的な活動を育む 支援体制の強化	<p>自信と希望をもって中学校に進むためには、自分で自分を育てるという主体的な態度を身に付ける学びが必要である。そのために、児童が主体となる活動への支援体制を強化していくことが第3の柱になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学年・学級行事、児童会活動等を、児童が自分たちで考え、協働して実行し、自分たちの活動を振り返り、次の活動につなげるように位置付けることで、児童の主体性を育てる。 ・異学年交流や異校種交流、地域の交流等、さまざまな交流活動を通して、自分の成長を実感するとともに、自分で自分を育てる主体性を伸ばす。
	④ 地域の方々とともに 地域愛を育む教育活動 の構築	<p>地域の一員として自立した大人になるために、地域愛や感謝する心を育み、ふるさとに誇りをもって地域に貢献しようとする心が育つ学びが必要である。そのために、伝統文化の盛んな吉浜地区の強みを生かし、地域の方々とともに児童を育む教育体制を整えることが第4の柱となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への感謝や貢献しようとする心を育む活動を、地域の方々と意思の疎通を図り、教育課程に位置付け、協働して学校づくりを進める。
	⑤ 業務量の適切な管 理等に関する働き 方改革	<p>現在、教員の多忙化が深刻な問題となっている。よりよい学校教育のためには、その担い手である教員が心身共に健康でなければならない。限られた時間の中で児童に向き合う時間や自分自身の学びの時間の確保を進めるために業務に費やす時間の削減を図ることが必要である。</p>

<p>学校運営ふり返りについて</p>	<p>本年度は資料P1, 2の5つの経営方針を柱として取り組んできました。P6～8の右上の○部分が自己評価です。評価は主にアンケートの結果をもとに「成果指標」に照らし合わせて判断しました。学校関係者評価委員の皆様にご意見を頂戴しまして、「経営方針」欄にABCの評価を記入したいと思います。</p>
<p>①授業力が向上する 主題研究体制の構築 <u>自己評価B</u>です</p> <p>P6 P20～25</p>	<p>P6縦中央太枠の成果指標に「全体研究のマネジメント」「自己評価3段階の活用」「子どもアンケートの活用」の項目があります。項目一つ目、「全体研究のマネジメント」についてです。</p> <p>年2回の全体授業では、児童の思考の流れにそった質の高い単元構想を組み、教職員全員で授業参観を行いました。授業後は協議会を行い、単元構想や授業の流れを振り返りました。P20～25ページに実践の概要を添付しましたのでご覧ください。</p> <p>また教員一人一人が授業を公開し参観した教職員間で情報交換を行い授業力の向上に取り組みました。単元構想や授業の進め方の工夫により、児童の主体的で深い学びが見て取れました。しかし児童の学びの連続性を保つための教師による「教科の枠を超え、学びの関連を考えたりつなげたりする視点」（教科横断的視点）や児童の対話欲求を生み出す教師の意図的な授業構成については課題が多く、まだまだ発展の余地があります。</p>
<p>P6</p> <p>P9</p> <p>P13</p>	<p>二つ目の「<u>自己評価の活用</u>」、三つ目の「子どもアンケートの活用」について説明します。</p> <p>ここで言う<u>自己評価</u>とは、<u>学校独自で作成した教職員対象のアンケート</u>のことを指します。アンケートの項目を教職員が自己評価すると共に、アンケートの項目は目標でもあるので現状の自分を目標に照らし合わせ、目標との距離を確認し、方向性を見定めるのに活用しています。</p> <p>P9の教職員アンケートの青枠が結果です。課題としてあげられるのは先ほどもお伝えした「深い学び」につながる教師による教科横断的な視点や児童の対話欲求を生み出す教師の意図的な授業構成です。教職員アンケート「授業力向上7, 8」からもその点が読み取れます。P9の分析をご覧ください。</p> <p>子どもアンケート（学校独自の作成）の活用についてです。</p> <p>P13の1の結果から77%の児童が主体的に学んでいると回答しています。また4の対話の質問には85%以上の児童が自分の考えを周りの人と伝え合うことで新しい考えに気づくと答えています。これらのことから児童は積極的に授業に参加し、授業での学びを楽しんでいることが分かります。その一方で授業での学びを自ら深めて行く姿勢が問われる3は約66%、6は75%にとどまり自ら課題を見つ</p>

	<p>けて自ら学ぶ姿勢が十分とは言えません。</p> <p>これらのことから、①の柱は、Bという自己評価を付けました。</p>
<p>②目標管理による学年 ・学級経営の展開 <u>自己評価Aです</u></p> <p>P 7</p> <p>P 13</p>	<p>P 7のPDCAサイクルを活用した学級経営についてです。</p> <p>全ての学級担任が学校の重点目標に沿って、自分の目標を立てて取り組み、学級経営案で半期毎に振り返ります。後期は前期の振り返りを生かして目標を立て、PDCAで学級経営を行いました。<u>教員自己評価シート</u>という<u>県で決められた評価シート</u>があり、そのシートを元に夏休みに学校長が全職員と面接を行いました。今年度の結果では95%の教員が目標を達成したと振り返っています。</p> <p>P 13の子どもアンケート問7, 8の結果からも80%の児童が学級をよくしようとする力があると答えています。各学級では、さまざまな交流活動を行い、児童が互いのよさを見つけたり、感謝の気持ちを伝えたりする取組を行っています。これらにより児童が自己肯定感を高め、自信を高め、思いやりのある行動をとることにつながりました。</p> <p>以上から、②の柱は、Aという自己評価を付けました。</p>
<p>③児童の主体的な活動を 育む支援体制の強化 <u>自己評価Aです</u></p> <p>P 7</p> <p>P 13</p>	<p>児童の「主体的な活動の様子」についてです。</p> <p>行事の場面を取り上げて説明します。児童の主体性を育むために、行事の前に児童自身が目標をたて、行事を終えると振り返るという活動をしました。小学校から高校まで持ち上げる『キャリアパスポート』を活用しています。</p> <p>また児童会活動ではあいさつ運動で「マジカル挨拶」と称し挨拶にまつわるものを連想して互いの思いをつなげ挨拶の意義を子ども自身で深める活動を実施しました。</p> <p>総合的な学習の時間の取り組みをもとに「6年の防災」「5年の防犯」「4年の環境」「3年の福祉」など、様々な切り口で学んだことを広げたり深めたりして自分の周りの人の充実や幸せに生かそうとする意欲的な様子が多く見られました。</p> <p>P 13のアンケートの結果からも「主体性1」について82%、「主体性2」では77%の児童が主体的に学んでいると答えています。</p> <p>これらのことから、③の柱も、Aという自己評価を付けました。</p>
<p>④地域の人々と共に地域愛を育む教育活動の構築 <u>自己評価Bです</u></p> <p>P 8</p>	<p>P 8地域と学校の協働による授業づくりについてです。</p> <p>総合的な学習の時間を元に、協働的な活動を積み重ねてきています。地域の協力を得て、3年生では福祉活動、4年生では伝統的な菊人形・細工人形を制作します。5年生では防犯について地域へのアンケート調査や、まち協、警察の方と協働で行いました。6年生は防災学習をまち協の協力を得て防災の視点でまち探検を行う予定です。</p> <p>「子どもアンケート」の地域行事への参加も75%の児童が参加したいと答えています。</p>

<p>P 9</p>	<p>また学校の授業とは別に防犯少年団「こっこきっず」が、まち協と一緒に防犯活動も行いました。このように実施している内容や児童の成長の点では十分満足のいく結果となっています。</p> <p>ただ、P 9の教職員アンケートの黄色の部分の結果から、「学んでいることについての情報発信に課題がある」ことが分かります。そこで情報発信や地域資源の活用促進という点にまだ伸びしろがあると考え、自己評価をBとしました。</p>
<p>⑤多忙化解消にかかる 業務改善 <u>自己評価Bです</u> P 8</p>	<p>今年度は昨年度に引き続き、ICT活用で教員の働き方改革を推進すると共にその効果が児童の成長に寄与するようにしました。</p> <p>まず、授業においてタブレットを利用してデジタルデータの資料を使ったり、画像や動画を使った説明を授業で取り入れたりして、データを教員間で共用しやすくなりました。このようなICT活用で児童もICTを活用しやすくなり、自ら分からないことをインターネット検索し答えを得るなど、学ぶ意欲を高めることにつながっています。児童自身が作成したデジタル資料を仲間と共有しながらクラスで説明をする授業は、将来のビジネス実務でも生きる教育だといえます。今後、児童が自ら学ぶ意欲を高め、自ら知識を獲得するような姿勢が当たり前になれば、授業で学びを深めることが期待できます。</p> <p>次に会議などのタブレット活用の拡大です。現在、教員間の会議に必要な資料をデジタル化し、紙媒体を削減しています。印刷や仕分けの作業にかかる時間が削減されたり、資料を探す時間の短縮になりました。今後、家庭に配布する資料についても「タブレット」や「すぐる」で配信できれば時間のゆとりが生まれますので検討していきたいと考えています。出張会議については、まだわずかですがWebに移行したものもあります。広まれば移動時間の短縮になります。今年度本校で行った市の一斉授業研究もWebで実施しました。ソーシャルディスタンスの環境整備にもつながりました。ただWeb会議についてはまだ不慣れな部分があるので設定に時間がかかり、今年度の多忙化解消にはつながりませんでした。</p> <p>また、Web会議は情報伝達するには十分ですが、議論して新しいアイデアを発見するのは困難でした。視線や表情、顔の向きが同じ空間で対話している場合と大きく異なるからです。今後の多忙化解消につなげるには、使い勝手を考えて活用することが必要だと思います。</p> <p>今年度も昨年度同様、コロナ禍の対応で新しく検討しなくてはならない事項が多くあり時間や手間がかかり職員には負担がかかりました。</p> <p>児童一人一人に寄り添う個を大切にしている教育には終わりがありません。100年に一度と言われる新学習指導要領の大改訂実施に伴い、教員が学ばなければならないことは山積しています。研修時間等の確保や児童に向きあう時間を保障するため、今後も働き方改革の意義から検討する必要があります。</p> <p>よって、⑤の柱は、自己評価をBとしました。</p>

学校経営の柱における短期目標・中期目標と目標実現のための方策及び成果指標

経営方針	中期目標	短期目標	方策	成果指標		【自己評価】 8割以上の達成：A 6割以上の達成：(B) それ以下：C	評価
				三 段 階	二 段 階		
① 授業力が向上する主題研究体制の構築	①児童が強い問題意識をもつような課題を工夫した授業の構築ができています。 ②児童が考えを深められるような思考のつなぎや思考の整理をする授業の構築ができています。 ③児童が強い問題意識をもったり、考えを深めたりする課題の工夫。	①めざす子ども像に近づくために教師がチームで、教科・単元の学び方や進め方を構想。 ②教科横断的な視点を入れた単元構想の作成。 ③児童が強い問題意識をもったり、考えを深めたりする課題の工夫。	① 全体授業研究を2回行い、主体的・対話的で深い学びが実現できる授業のあり方を研究し各学級で実践する。	全体研究のマネジメント	三 段 階	全体授業から課題を見いだし、改善策を工夫して深い学びのある授業の構築に迫っている。	・目指す子ども像に近づく全体授業のPDCAサイクルを日頃の授業に生かし、スパイラルに展開させ、授業力を向上させている。 (活動の様子・教員による分析)
				自己評価の活用	二 段 階	全体授業で課題を見いだし、改善策を考え、日頃の授業で実施している。	
					一 段 階	主題研を意識して全体授業に参加している。	
					三 段 階	学校全体の学習指導上の課題を見いだし、改善の視点で考え、組織的な実践を図っている。	
				二 段 階	主体的な学びを導く指導技術を向上させ、校内研究体制の推進を図っている。		
				一 段 階	教員アンケートに取り組み、結果を今後に生かそうとしている。		
子どものアンケートの活用	三 段 階	各教科などの特質に応じた「見方・考え方」を働かせて学んでいる。	・児童が各教科を学ぶ過程で、学ぶ意義をつかんだり、獲得した知識や技術を活用したりしている姿が見られる (活動の様子・児童アンケート)				
	二 段 階	他者の考えと対話しながら自身の考えを広げ、深めている。					
	一 段 階	児童が学びに興味関心をもち、次の学びにつなげている。					

経営方針	中期目標	短期目標	方策	成果指標	【自己評価】 8割以上の達成：(A) 6割以上の達成：B それ以下：C 評価
② 目標管理による学年・学級経営の展開	児童の今の位置を考え、卒業時の姿を見据えた学級経営ができてきている。	学年末の児童の、あるべき姿を目標として、次の学年につながる学級経営ができてきている。	「アンケート」で成果と課題を明確にし、自己向上力のある学級にするためのシステムを構築する。	P D C A サイクルを活用した学級経営 三段階 常に P D C A サイクルで学級経営を進めている。 二段階 課題に対する子ども個人の目標や学級目標の実現に向けて学級経営を工夫改善している。 一段階 学校教育目標や学年目標をもとにして学級経営目標を立てている。	・担任の思いが児童に伝わり、学級目標を意識しながら、安定して授業の質を高められる学級の姿になっている。 (教員自己評価シート・子どもアンケート)
経営方針	中期目標	短期目標	方策	成果指標	【自己評価】 8割以上の達成：(A) 6割以上の達成：B それ以下：C 評価
③ 児童の主体的な活動を育む支援体制の強化	発達段階に応じて適切に判断し、よりよい未来を考え主体的に行動しようとする児童を育てている。	発達段階に応じて児童の主体性・社会性を育む活動を、企画実践している。	生活科や総合的な学習の時間などで、主体的に学び異学年や地域との交流活動を設定し、振り返りや意見発表を行うことで自分の成長に気付くとともに、次の活動につなげていく。	児童の主体性を育む活動 三段階 児童が自分の成長を実感し、周りへ感謝の念をもち、次の活動に生かそうとしている。 二段階 児童が充実した活動をし、自分の成長に気づいている。 一段階 児童が活動の目標をもっている。	・児童が活動に対して目標をもち、やり遂げた満足感と自信をもつことができている。そして、振り返りを次の活動に生かし、更に主体的に活動する姿が見られる。 (活動の様子・児童アンケート)

経営方針	中期目標	短期目標	方策	成果指標	【自己評価】 8割以上の達成：A 6割以上の達成：B それ以下：C	評価
④ 地域の方々とともに地域愛を育む教育活動の構築	ふるさとに誇りをもち、感謝するとともに、地域に貢献しようとする児童を育てる活動を、学校と地域が協働して行うよう調整している。	ふるさとに誇りをもち、感謝する心が育まれる活動を構想している。 地域に貢献しようとする児童を育てる活動を、学校と地域が協働して行うよう調整している。	生活科の町探検、菊の一人一鉢栽培や菊人形作り防犯・防災など、地域に学ぶ活動において、多くの方々や学校が意思の疎通を図り、活動の意義を明確にして取り組む。	三段階	地域の多くの方々や学校が協働して児童を育むことができる活動を教育課程に位置付けている。	各学年での地域活動により、地域を理解し、誇りに思うとともに、地域の方に感謝し、地域に貢献しようとする心をもつ児童が育っている。 (活動の様子・児童アンケート) ・教職員、保護者、地域の方が、「ふるさとを大切に思い、貢献しようとする児童」を育てている学校だと感じていたり、地域に開いた学校だと感じている。(教職員アンケート、保護者アンケート、学校関係者評価など)
				二段階	地域の「人・もの・こと」に、学ぶ活動がある。	
				一段階	地域の「人・もの・こと」にふれ合う活動がある。	
経営方針	中期目標	短期目標	方策	成果指標	【自己評価】 8割以上の達成：A 6割以上の達成：B それ以下：C	評価
⑤ 多忙化解消にかかる業務改善	業務改善が進み、児童に向き合う時間の確保が進んでいる。	業務改善を進め、教員の在校時間の減少や有給休暇の取得を促し、多忙化解消が進み、児童に向き合う時間や学び時間の確保が進んでいる。	これまでの働き方を見直し、業務に費やす時間の削減を進める。長時間労働を改善するために努力を「可視化、分析、試行、改善」するよう示す。 業務改善を進め、教員の在校時間の減少や有給休暇の取得を促し、多忙化解消が進み、児童に向き合う時間や学び時間の確保が進んでいる。	三段階	管理職等、一部の職員による校務の巻き取りに対する整理が進み、全教職員が、在校時間月平均45時間以内となっている。	教職員の多忙化解消とともに、学習指導の研究や児童に向き合う時間の確保がなされていると実感している。(教職員アンケート) ・校外で教員の働き方改革についての理解が進んでいる。 (学校関係者評価、教職員アンケート、保護者アンケート)
				二段階	校務の整理や校務の円滑な引き継ぎのシステムを構築している。	
				一段階	在校時間月平均45時間を越える教員が自分で原因を分析している。	

令和3年度 吉浜小学校 教員（42名分）アンケート結果 まとめ【後期】

【授業力向上1】 児童が問題意識をもつように適切な発問をしている

● はい	38 (90%)
● いいえ	4 (10%)

【授業力向上2】 児童が考えを深めたり思考を整理したりできるように板書をしている

● はい	30
● いいえ	12

【授業力向上3】 児童の課題追究を支える環境を構成している

● はい	31
● いいえ	11

【授業力向上4】 児童が考えを深めたり思考を整理したりできる授業や単元を構想し、実践を積み重ねている

● はい	33
● いいえ	9

【授業力向上5】 児童の課題追究を支える意図的な環境の構成をしている

● はい	25
● いいえ	17

【授業力向上6】 高い専門性を基に、周りにある教育資産や新しい指導方法を効果的に取り入れて授業や単元を構想している

● はい	7
● いいえ	25

6月

→

● はい	21
● いいえ	21

12月

【授業力向上7】 他の教員の模範となる授業実践や単元構想をしている

● はい	9
● いいえ	33

【授業力向上8】 児童の課題追究を支えたり引き出したりする意図的な環境の構成をしている

● はい	20
● いいえ	22

【指導力・マネジメント力(学級・学年経営)1】 児童同士のコミュニケーションを促進すると共に、個の特性を的確に捉えている

● はい	37
● いいえ	5

【指導力・マネジメント力(学級・学年経営)2】 学年経営や学校運営に積極的に参画し、課題解決を図っている

● はい	26
● いいえ	16

【指導力・マネジメント力(学級・学年経営)3】 他の教員の学級・学年経営に適切な支援・助言を行っている

● はい	14
● いいえ	28

【指導力・マネジメント力(地域の素材活用と連携)】 地域に向けて地域学習について情報発信するとともに地域資源の活用を促進している

● はい	12
● いいえ	30

【分析】

【授業力向上6】をご覧ください。6月では7人の教職員が「はい」と答えましたが、12月は21人と向上しました。今年度全体授業を行った4年生の算数単元「概数」では本校の修学旅行を担当する名鉄観光の協力を得て、様々な旅行プランを6年生に提案する構想を練りました。プランを練る段階では相手の要望に合わせて素早く提案するために価格を概数にする必要が出ます。この工夫で児童は概数の特徴を理解し概数を活用する必要性に気づきました。児童の中には「概数」はすごい、大好きになったと感想を述べた子も少なくありません。また5年生では、一斉授業研究（高浜市教育研究会主催）で「算数（割合）」「社会（地図・工業地帯の産業内容）」「総合（防犯）」を結びつけた授業を行いました。このような単元構想をするには教科横断的な視点でカリキュラムマネジメントをする必要があります。さらに1年生の全体授業研、生活科の「あきのたのしきはっけん」では児童が見つけたり考えたり作ったりした秋の魅力を6年生にプレゼントする単元を構想し実施しました。日頃お世話になっている6年生に喜んでもらいたいという思いが1年生を動かすエネルギーとなり、満足感のある体験となりました。

これらの単元構想は、学年や主題研究推進委員会で何度も話し合わせ練り直されて作られました。教職員が力を合わせることで授業力の向上につなげ、その結果が【授業力向上4】にも表れています。

課題としては【授業力向上7・8】に見られます。今後もカリキュラム全体を俯瞰して教科間をつなげたり、関連する教材を用意したり、児童の学びの状況をつかんで児童自身が「課題解決できた」と自信をもったりできるような進め方を工夫します。

続いて【授業力向上1】と【指導力・マネジメント力(学級・学年経営)1】をご覧ください。これらから多くの教職員がしっかりと児童に向き合っていることが分かります。ただ【働き方改革1】と【指導力・マネジメント力(学級・学年経営)3】の結果から教員間では、対話力を意識していく必要があると感じました。現在、主題研推進委員会では情報の可視化を進め児童の躍動につながる取り組みを始めています。

最後に【地域力】では、これまで積み重ねた地域素材活用に加え、ICTを活用した情報発信の模索に力を入れたいと思います。

【働き方改革1】 質の高い教育と長時間労働是正のため、周りの人の業務を効果的に行う策を考えている

● はい	26
● いいえ	16

【働き方改革2】 先を見通し多忙化解消に近づくために何らかの改善策を実施している

● はい	31
● いいえ	11

R 3 学校関係者評価委員会アンケート 教職員 後期

【授業力向上の感想】

<自分の姿勢・構えについて>

- ・研鑽の日々です。
- ・公開授業を中心に子どもが学びを深められるように、できるかぎり考えている。
- ・初めての日本語指導で、試行錯誤しながら進めています。
- ・アシスタントですので、子どもの支援に徹します。
- ・まだまだ学ぶことが多く、今後も追及していきたい。
- ・今年度は初めての小学校外国語担当となり、試作・模索する割合が多く、実践や実績の積み重ねまで至れなかった。来年度以後、小学校外国語を担当することがあれば、今年度見つけた課題を追究しながら自身の授業力を向上させていきたい。

<他の教職員間の協力・影響について>

- ・いろいろな先生方の授業を参観したり講師の先生のお話を聞いたりして勉強させていただいている。
- ・自分だけでは力不足だが、学年で力を合わせて単元を作り上げていく中で、全体の授業力が上がっていくと改めて感じた。
- ・学年の教師とともに単元の構想を練り、より良い授業となるよう向上につとめた。
- ・他教員と相談しながら、授業力の向上を目指していきたいと想います。
- ・他の先生と話すことによって学ばせてもらっています。
- ・協力して楽しくやれるといいと思っています。

<新しい指導法・ICT活用について>

- ・タブレットのシンキングツールなどを活用して、児童に興味をもたせることができたと思う。
- ・時代の流れも踏まえて、必要な情報をおさえ、どのような子どもたちへと成長を願うのか明確にして、日々精進していきたいです。
- ・四色板書を取り入れた授業構成を意識している。
- ・夏季の学校研修での四色板書は、とても勉強になりました。毎時間できるように実践を積み重ねていきたいです。

▲授業力を向上させるための時間を確保することができません。

【学級経営・学年経営・学校経営の感想】

<自分の姿勢・構えについて>

- ・まだまだ人様に学級経営などを諭せるほどの経営はできておりません。
- ・学級、学年経営案を見直し、できることが増えているか確認することで振りかえるようにしている。
- ・自分の周りのことまでで精一杯になっている。周りを見る力を養いたい。
- ・日だまりプロジェクトが子ども達の発達状態に適していて、学級経営に大変役立っている。
- ・1、2年間の姿を見通そうと努めているが、6年間や9年間は見通せていないと感じる。
- ・初めての学年主任ですが、周りに恵まれて楽しくやれています。
- ・スクールアシスタントですので、子どもの支援に徹します。

<他の教職員間の協力・影響について>

- ・学年の先生方に相談しやすく、学びが多いと思います。
- ・自分の力が少しでも子どものため、学校のためになっていれば、嬉しいです。
- ・隣の先生のクラスを参考にさせていただきながら良いものを吸収したい。
- ・学年で一緒に考え、児童の成長につながる方法を考えています。
- ・担任の先生と情報を交換しながら、子どもたちの成長を共に願い支えている。ただ、複数校の勤務のため、連携するための時間が十分にあることがある。
- ・学級経営が一番大切だと思っている。その場だけのことでなく、日々の積み重ねだと思うので、担任と児童がどういうクラスでありたいか思いを共有し、一緒に頑張っている。学年では合体の時間に、話をさせていただいている。

<新しい指導法・ICT活用について>

- ・不器用、コミュニケーションをとることが苦手、字を読むのが苦手、指示が一度で聞き取れないなどの困難を抱えている児童が多数いるので、コグトレに取り組んだ。少しずつ改善が見られる児童がいる。落ち着く子が増えることで、学級も落ち着いてきていると感じている。学年末まで続けていきたい。

【地域素材の活用と連携】の感想

<自分の姿勢・構えについて>

- ・まち協さんや警察と協力した総合の実践を行えた。
- ・地域素材の活用ができていないと感じる。
- ・まずは自らが地域に感動し、それを思いを持って子どもたちに伝えられるような教員を目指したい。
- ・鬼みちの学習、福祉の支援者との関わりが大変役立っている
- ・吉浜まちづくり協議会の支援ありがたい。
- ・多くの地域素材のある学区なので、それを日本語指導にも生かしていけるといいなと思いました。
- ・まちきょうさんや保護者が協力的で助かります。
- ・地域の方々との関わりは、子どもたちにとって素晴らしいものですので、これからも進めていきたいです。
- ・まちきょうさんが率先して動いてくださるのでありがたい。学年主任が主体的に動いてくださるので、子どもたちの思いを大切に活動ができたと思う。
- ・生活で、公園に出かけて、地域の自然について触れてきた。
- ・お世話になった地域の方にお礼ができる機会があったらよかった。今後、コロナウイルスも落ちついてきたら地域の方々との交流をしてみたい。
- ・まち協さんと連携することで、地域の防犯意識を高めることができました。
- ・町たんけんや、地域の方に野菜作りを教えていただいた。

【自分や周りの人が実施した多忙化解消につながった（つながる）具体策】

<新しい方法>

- ・主題に指導案をロイロノートに入れればよいのではと提案した。

- ・タブレットの活用
- ・紙媒体ではなく、タブレットや携帯を使って情報を共有したり、意見を集約したりするのは、時間の短縮になって便利だなと感じる。

<心がけ>

- ・家族に帰宅時間をあらかじめ伝え、それを目標にして仕事を計画立て、時間内にこなせないものは、無理をしすぎないようにする。

<整理・精選>

- ・朱書き事項の精選

<協力・共用>

- ・作った教材を共有して使うこと。
- ・教材の共有化
- ・学年会で効率的に話し合う。
- ・学年で協力し、負担が重ならないようにしています。

<工夫>

- ・家に持ち帰る 放課に添削をする
- ・やることリストを週に一回作って、こなしていく。毎日コツコツやっていけばパンクせず把握しながら進めることができる。

令和3年度 吉浜小学校4～6年（375名分）こどもアンケート12月結果 まとめ

1【主体性1】授業の中で、考えたい、話し合いたい、もっと学びたいと思いますか

● ア	そう思います	139
● イ	だいたいそう思います	167
● ウ	少しそう思います	61
● エ	そう思いません	8



2【主体性2】問題や課題に出会った時、自分から「かいつさく」を考えてがんばることが出来ますか

● ア	できます	111
● イ	だいたいできます	176
● ウ	少しできます	78
● エ	できません	10



3【対話1】本を読んで、著者（ちょしゃ）の考えや登場人物の考えを理解したり取り入れたり調べたり自分と比べたりしていますか

● ア	しています	99
● イ	だいたいしています	148
● ウ	少ししています	92
● エ	していません	36



4【対話2】自分の考えを周りの人と伝えあうことで、新しい考えに気づくことがありますか

● ア	よくあります	168
● イ	時々あります	152
● ウ	少しあります	43
● エ	ありません	12



5【深い学び1】各教科を学ぶ中で、自分のこれまでの見方や考え方は大きく変わった（成長した）と思いますか

● ア	とても思います	131
● イ	思います	172
● ウ	少し思います	55
● エ	思いません	17



6【深い学び2】学習したことを復習したり、自分で調べたりして、もっと分かるようになりたいと思いますか

● ア	とても思います	112
● イ	思います	168
● ウ	少し思います	72
● エ	思いません	23



7【学級力1】あなたの学級では、だれもが安心して意見を交流することができていますか

● ア	できています	136
● イ	だいたいできています	160
● ウ	少しできています	65
● エ	できていません	14



8【学級力2】あなたの学級では、学級をよくするために課題を見つたり、解決策を考えたり、行動したりしていると思いますか

● ア	できています	138
● イ	だいたいできています	166
● ウ	少しできています	59
● エ	できていません	12



9【自分1】「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございます」「ごめんなさい」など様々なあいさつができますか

● ア	できます	269
● イ	だいたいできます	83
● ウ	少しできます	17
● エ	できません	6



10【自分2】自分で自分のことを大切な存在だ、自分にはよいところがあると思いますか

● ア	そう思います	151
● イ	だいたいそう思います	117
● ウ	少しそう思います	72
● エ	そう思いません	35



11【自分3】この先、自分は成長してたくさんを知ったり、できるようになったりすると思いますか

● ア	そう思います	210
● イ	だいたいそう思います	112
● ウ	少しそう思います	41
● エ	そう思いません	12



12【地域1】地域の人に感謝（かんしゃ）したり、あいさつしたりすることが出来ますか

● ア	できています	233
● イ	だいたいできています	101
● ウ	少しできています	33
● エ	できていません	8



13【地域2】地域のお祭りや行事などに参加しようと思いますか

● ア	とても思います	145
● イ	まあ思います	137
● ウ	少し思います	68
● エ	思いません	25



【分析】

1 主体性について

問1は青とオレンジで82%、問2は77%となりました。この結果から児童が主体的に学んでいることが分かります。

教員間で教材研究の成果を「ロイロノート」に落とし共有して授業を進めたり、公開授業を行って意見交換をしたりしたことが授業力向上につながり児童の学ぶ意欲を支えたと考えられます。問2についても80%以上を目指し課題について考え解決する楽しさを実感させる工夫をしていきます。

また、問1の赤の部分は「学びたいとは思わない」と答えている児童です。前回の14人から8人に減少しました。中でも6年は前回「学びたいとは思わない」と答えた児童が11名いましたが今回2名になりました。総合的な学習の時間でテーマをもとに調べたり話したり、道徳で意見を認め合ったりする活動を繰り返し、主体性に寄与したと考えられます。

2 対話について

問3から考える読書が十分にできていないという思考力につながる課題が見えます。国語の授業で文の読み取り方、物語や説明文を学ぶ意義を伝える工夫をしていきます。一方、問4から話し合い活動の良さを感じていることが分かります。ここからさらに意見を交流させるだけでなく感動する域まで到達できるよう授業力を磨いていきます。

3 深い学び・学級力・自分に関することについて

問5は青とオレンジの合計が前回の79%から81%に上がりました。しかし問6は79%から75%に下がりました。「もっと分かるようになりたいか」という問いに対し「少し思う」「思わない」と答えた緑と赤の児童が増えています。「思わない」と答えた児童の約半数は、問10「自分にはよいところがあると思うか」に対して「思わない」と答えています。また問7「学級力」の結果も前回の83%から79%に下がっています。学ぶ良さを大切にする学級の雰囲気作りを工夫しながら個別対応にも力を入れていきます。

また問9「挨拶」は前回青とオレンジで97%でしたが今回は94%になりました。下がってはいますが、挨拶についての児童の感想に「先手の挨拶」「遠足など外で出会った人への挨拶」「地域の人への挨拶」という言葉があり、児童の意識向上が関係していると考えられます。現在進行中の児童の自主的な取組が継続できるよう支援します。

4 地域について

本校では総合的な学習の時間での地域の学びが充実しています。今後も学びを継続し、高浜を誇りに思う児童を育てていきます。

R3 学校関係者評価委員会アンケート子どもアンケート（12月） ークラスや周りの子のステキなところについて（自由記述）ー

※ 子どもが自由に表現した記述をそのまま載せていますが、似たような意見は省きました。

◆主に授業について

- ・毎日、チャイム前着席をするために声をみんなに声をかけているのが素敵だと思います
- ・授業が近くなると「そろそろ席着いて」と言ってくれること。
- ・いろいろな人が授業の時に手をあげていることがすてきだと思う。
- ・授業にしっかりと取り組んでいる事が素敵だなと思う。
- ・集中するときはだいたいのひとが集中している。
- ・いつもたくさん発言をされていて間違っているかもしれないのに手をあげて発言をされていて素敵だなと思った。
- ・聞く姿勢を意識している
- ・切り替えが早いから先生が来たらスッと静かになる。

◆学級をよくしようとする力について

<話し合い>

- ・話し合いでたくさんの方が意見を出し合っていた。♪
- ・周りの人と話し合うときよく話ができているところ
- ・私のクラスは自分の気持ちをはっきりと言えることが素敵だなと思う。
- ・みんなすてきだと思う。なぜなら、みんなで意見を通したり話し合っているから。
- ・クラスのみんなで誰かが発言しているときに発言している子のほうに顔を見ている

<協力・思いやり>

- ・助け合いが素敵だと思う
- ・誰かがこけたりした時に「大丈夫」と声をかけたりしているところがとてもよかった。
- ・けがをした子がいると、心配をして保健室に連れてっている
- ・前期学級委員は、後期になっても、みんなのことを、よく考えてくれている。
- ・クラスの子が長縄で引っかかってしまっみんなに迷惑をかけてしまいそうで怖がっていたけど、勇気を出して長縄に入って連続で跳べたこと。
- ・毎日のように整理整頓をされていて、素敵だなと思いました。
- ・整理整頓を人の見てないところでもやっている。
- ・窓を開けたり・トイレのスリッパを、そろえたり・人がけがをした時には大丈夫と、声をかけたり、している所が素敵だなと思います。
- ・掃除の時、自分の仕事でもないのに、手伝ってくれる友達を素敵だなと思っています。
- ・掃除道具を用意してくれる。
- ・掃除を静かにしてること
- ・はいたつがでてきたらすぐにくばってくれるところです。
- ・ケンカをしていた友達に「ケンカはやめよう」と声をかけていた。
- ・クラスのみんなで支え合っているのが素敵だなとおもいます。

- ・トイレのスリッパを自分からそろえていたり、教室の後ろの思いやりの花を書いていた、自分から挨拶をしていたり、掃除を静かにしていたりしたら、すてきだと思います。
- ・わからないことを教えてくれる。何かをこぼした時手伝ってくれる。
- ・靴をそろえたりしている所
- ・クラスの友達が誰かが泣いた時に「大丈夫？」と声をかけていることが素敵だなと思いました。
- ・持久走で自分のことだけではなく周りの人のことも考えていてすごいなと思いました。
- ・「勉強でわからない所は聞いてね」と言ってくれたので、安心して勉強ができた。
- ・友達がお茶をこぼした時、みんなで手伝えた。
- ・自分勝手ではなく、周りを見て行動しているところ。
- ・わからない子のためにわかっている子が教えたり、手伝ったりすること。
- ・みんなが友達のために頑張っている事が素敵だなと思う。
- ・相手のことも考えて行動している事が素敵だと思う。
- ・いろんな人たちで助け合っている事、協力し合えること。
- ・縄跳びで、ひっかっかちゃったときに「ドンマイ」など、掛け声をかけていた。
- ・大縄の時に、みんなで声かけしていたり、失敗した子にコツを教えていたりしたこと。
- ・大縄でみんなが色々な言葉を掛け合っていて、さらに自分も言葉を掛け合いたくなるような言葉をみんなが言っていてすごいと思いました。
- ・みんなで協力して、大縄などスポーツ大会の作戦をするために時間をとって、みんなの意見をまとめていたいろんなリーダーの人は、すごいと思いました。
- ・だれかが何か分からないときすぐに教えてすてきだと思います。
- ・悲しんでいる子がいれば支えあって 一人が出来なかったことができるようになったら自分のように喜ぶ、褒めるのが素敵だと思います
- ・困っている人を気付いてあげれる
- ・墨汁をこぼしちゃった時に、周りの子がすぐ雑巾でふいていた
- ・学級の仲を良くするために思いやりを書き出す人がたくさんいること。
- ・人のいいところを見つけられる
- ・クラスが思いやりをできて特に学級委員が毎日漢字小テストををわすれないで配っていて素敵だなと思いました。
- ・学級員の人が行動を指示してみんながちゃんと動いているから素敵だと思います
- ・学級委員がしっかりクラスを引っ張っている。

<自律>

- ・切り替えが早い事が素敵だなと思う。
- ・みんなで、先生の話聞いてすばやくこうどうできたり、先生が話すときのめりはいがよいところがいいと思います。
- ・みんなで呼びかけたり注意したりしていいと思います
- ・みんなが先生がいない時も静かに待っている
- ・ダメなことはダメと言っているところ

<向上心>

- ・自分から進んで解決策を考えて難題を乗り越えていくところ
- ・自分で勉強が出来るところ
- ・自分のクラスは努力しているところが素敵です。
- ・自分から行動が出来ている。
- ・言われて無いのに行動をして凄いと思う
- ・すぐに行動している
- ・誰かが誰かのために頑張ったり、その子のためにいろいろな事を考えて行動していてすごいなと思います。
- ・クラスを良くするようにたくさん考えてくれている人もいるので私も頑張ろうと思います。
- ・みながいっしょに考えるのがすてきだと思います
- ・みんなが長縄大会に向けて練習を頑張っている。
- ・みんな、よく考えれてとてもすてきなあとと思いました。
- ・クラスの事を考えて行動していると思う。
- ・友達のことを考えて行動してる子が多いと思う。
- ・みんながみんなのために考えて行動していると思う。
- ・クラスのみんながとても成長してると思う。
- ・クラス全体がクラス目標の一致団結を意識していること
- ・みんな良く発言が出来て、すごいなと思いました。自信なくて、間違えた子も、素敵だと思います。

◆全体の雰囲気について

- ・仲のいいクラスです。
- ・みんなで楽しく過ごして笑顔でいつもやれて素敵だと思います。
- ・いっぱいあそぼと言って誘ってくれるから嬉しいです。
- ・皆んな元気でいつもがっこうにきていてすごいと思います
- ・みんな元気で笑顔
- ・みんな楽しそう
- ・クラスでは、たまに喧嘩はするけどいつも仲がいい気がします。
- ・皆、放課に仲良く遊ぶことができる。
- ・整理せいとんができています。みんな仲良く遊んでいる。

◆あいさつについて

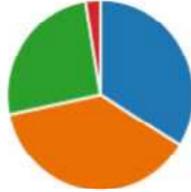
- ・町を歩いている時に会った人とあいさつを先にしている。
- ・だれにでもあいさつがしっかりできる。
- ・大きな声であいさつができていところ
- ・挨拶をすると小さい声でもおはよう言ってくれたり、友達のために行動できること
- ・朝入ってくると「おはようございます」と、みんなが挨拶をしてくれる事。
- ・挨拶や発言感謝の気持ちとか大きな声でいえてるとおもいます。😊😊みーんな仲良く支えられるいつも不機嫌な時はないし絶好調のときしかない。いつもしあわせのさいこうのくらすだとおもいます。😊😊

令和3年度 吉浜小学校保護者（542名分）アンケート結果 まとめ

1 【主体的な学びについて】

①お子さんは、学校の授業で学んだことや活動について家で話したり、試したりしている。

ア そう思う	183
イ だいたいそう思う	206
ウ 少しそう思う	139
エ そう思わない	14



9 【吉浜地域について】

①お子さんは、地域の【人・もの・こと】とふれ合い、地域を大切に思う心を育てている。

ア そう思う	101
イ だいたいそう思う	199
ウ 少しそう思う	193
エ そう思わない	49



2 【主体的な学び】

②お子さんは、問題や課題に出会ったとき、自分から解決策を考えてがんばることができる。

ア そう思う	101
イ だいたいそう思う	219
ウ 少しそう思う	176
エ そう思わない	46



10 【吉浜地域について】

②お子さんは、地域のために自分にできることは何かを考えたり実行したりしている。

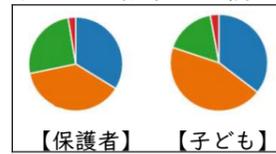
ア そう思う	42
イ だいたいそう思う	102
ウ 少しそう思う	225
エ そう思わない	173



【分析】

「問い1 児童の主体的な学び」の円グラフをご覧ください。青「そう思う」34%、オレンジ「だいたいそう思う」38%、計72%の保護者が『児童は学校の授業で学んだことや活動について家で話したり、試したりしている』と答えていました。72%の学年内訳は低・中・高学年の差はなく約3等分でした。

子どもの結果と比較すると下図のようになります。「青」と「赤」の部分はほぼ同じですが「オレンジ」と「緑」の部分に違いがあります。



この結果を受けて児童が「自分は主体的に学んでいる」と自覚しその表現ができるよう支援します。そのため学んだ知識を表現する場を設けたり、知識をどのように活用するかを問いかけたりする場を設定します。児童の思考力・判断力を高め、学びに向かう姿勢を育てます。今後も保護者と手を携えて深い学びの実現を目指していきます。

【保護者】 【子ども】

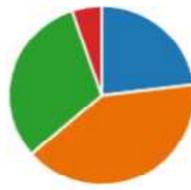
以下保護者の感想です。

- ・学校で教わったことを親や兄弟に話していて、楽しく学習に取り組んでいるようです。
- ・総合的な学習の時間に「白杖の方」や「介助が必要なキーホルダーをつけている方」の勉強をしたようで、町でその方を見つると教えてくれます。そして手伝おうとしています。

3 【対話的で深い学びについて】

①お子さんは、自分の考えを表現したり、人の考えを聞いたりして新しい考えをもつことができる。

ア そう思う	125
イ だいたいそう思う	220
ウ 少しそう思う	169
エ そう思わない	28



4 【対話的で深い学びについて】

②お子さんは、本を読み、著者や登場人物の考えを理解したり、取り入れたり、調べたり、自分と比べたりしている。

ア そう思う	84
イ だいたいそう思う	142
ウ 少しそう思う	205
エ そう思わない	111



5 【学びに向かう力について】

①お子さんは学習したことを復習したり調べたりして、もっと分かるようになりたいと努力している。

ア そう思う	94
イ だいたいそう思う	162
ウ 少しそう思う	183
エ そう思わない	103



6 【お子さんの成長の自覚や誇りについて】

①お子さんはあいさつが積極的にできる。

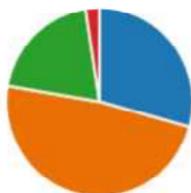
ア そう思う	151
イ だいたいそう思う	221
ウ 少しそう思う	109
エ そう思わない	61



7 【お子さんの成長の自覚や誇りについて】

②お子さんは自分のことを大切な存在だ、自分には良いところがあると思っている。

ア そう思う	159
イ だいたいそう思う	262
ウ 少しそう思う	108
エ そう思わない	13



8 【お子さんの成長の自覚や誇りについて】

③お子さんは、自分の将来について希望や夢をもち、目標に向かって努力している。

ア そう思う	119
イ だいたいそう思う	174
ウ 少しそう思う	180
エ そう思わない	69



「問い5」の円グラフをご覧ください。過半数の保護者が児童の自主学習について十分とは言えないと回答しています。関連する質問が『全国学力学習状況調査』にもあり、本校児童が愛知県や全国の児童と比べて学習不足を感じていることが分かります（下グラフ）。今後、勉強方法の指導に力を入れ、児童が自ら考え工夫する時間を設けていきます。



「問い6 挨拶」の円グラフをご覧ください。

子どもの結果と比較すると左図のようになります。青部分に大きな違いがあります。その原因として児童は『校内の挨拶』に重点を置いて回答しているのに対し、保護者は『校外の挨拶』に焦点をあて回答していることが考えられます。ただどのような場面でもしっかり挨拶する児童も少なくありません。今後も挨拶の意義を考え、よりよい挨拶の実践をめざしていきます。

- 以下は保護者の声です。
- ・挨拶がすばらしい！
 - ・犬の散歩をしていると下校中の子が自ら「こんにちは」と大きな声で挨拶をしてくれうれしかったです。
 - ・車を停めて渡るのを待っていると、ほとんどの子が一礼をし小走りで渡っている。

【その他、保護者の声】

- ・まち協さんが菊細工など伝統文化を教えてくれたりパトロールしてくれたりするので子どもはいつも感謝しています。
- ・先生や友達が、努力して頑張っていることに気づいて褒めてくれることが成長につながり力となっていると感じています。
- ・上級生の子が下級生に優しく交流もたくさんあります。

今後も課題を分析し、子どものよりよい学校生活を目指します。

R3 学校関係者評価委員会アンケート保護者感想まとめ

※似たようなご意見は省いています。

◆授業・単元構想について

- ・授業で学ぶことが大好きで、興味をもって意欲的に授業に参加し、考えたことを言葉で伝えることができていると思います。
- ・福祉の授業で、実際に車椅子体験をしたり、地域の人との関わりを通して、障がいについての知識を深めることができた。家でも詳しく教えてくれ、自分とは違う様々な立場の人を考えられるようになったと思う。
- ・白杖の方や介助が必要なキーホルダーを付けている方の勉強をしたようで、街でその方達を見つけると私に教えてくれます。そして手伝おうとしています。

◆学ぶ意欲について

- ・よく、学校で勉強したこととを、楽しそうに話してくれます。菊まつりでは、2年ぶりに遠方から来た祖父に、作った菊や人形を見せることができ、うれしかったようです。
- ・家で学校で教わったことを親や兄弟に話していて、楽しく学習に取り組んでいるようです。
- ・興味を持ったこと(恐竜や動物)について図鑑を見たり、インターネットで調べたり楽しみながら知識を深めていて、すごいなあと思いました。

◆コミュニケーションについて

- ・1年生と6年生のかかわりがよいと感じました。人見知りや挨拶が苦手な方なのに町中で見かけた仲良しな6年生に自分からうれしそうに手を振っていました。
- ・上級生の子が下級生に優しく、交流もたくさんありとても良いことだと思いました。
- ・努力して頑張っている事に対して、先生方やお友達が気付いて褒めてくれることが、子供の成長に繋がり力となっていると感じて感謝しています。
- ・菊まつりの時に、吉浜小の4年生の子が全く知らない高齢の方と一緒に周り、最後は道が分からないと言ったその方を駅まで案内している様子を見て驚きました。このようなことが自然に出来ることにただただ感心します。
- ・学校での友達関係など色々なことを話してくれます。人に流されず、自分で善悪の判断をし、自分が正しいと思う行動をしていると感じています。

◆挨拶について

- ・授業参観の時に感じたことですが、授業の始めと終わりの挨拶を丁寧にしていて感心しました。毎日、毎時間、一日何回もする挨拶ですが、適当にすることもなく、みんなが丁寧にお辞儀している様子を見て、しっかり挨拶する習慣をつけてくださっていることを感じ、学校や先生方に感謝しています。
- ・犬の散歩をしていると2年生くらいの女の子が下校中すれ違うと自ら「こんにちは」と大きな声で挨拶をしてくれうれしかったです。
- ・この間、学校外で出会った知人のお子さん(吉小)が、大きな声で挨拶をしてくれ、こちらも気持ちが良くなりました。

- ・学校に行くと低学年も高学年も挨拶をしてくれる。
- ・車で走行中、吉浜小学校の子に道を譲ると、どの子も必ず頭を下げ、駆け足で通ってくれます。大人でもできない人が多いなか、吉浜小学校の子は偉いなと感心しています。我が子にもそんな気持ちが育ってほしいです。
- ・スポーツ大会のかけっこで、隣の子にぶつかって泣かせてしまった生徒が、戻って行って謝っていた姿には感動しました。
- ・吉浜小学校の児童は、挨拶の際、言葉をしっかり言ってから、お辞儀をするところが本当に素晴らしいと思います。大人でもなかなか出来ません。立派！！
- ・学校の廊下ですれ違ったり、近所で旗当番で会ったりすると元気に挨拶をしてくれて気持ちが良いです。挨拶運動を学校でも積極的に取り入れてくださり、ありがたいです。

◆地域学習について

- ・地域のつながりが凄くあり、子供も積極的に地元のイベントに参加している。
- ・菊まつりの菊がとてもキレイでした。まち協の方々とのつながりを持ち、地域の行事を盛り上げる活動は素晴らしいと思います。菊まつりスタンプラリーも子どもたちがたくさん参加していました。地域を歩いて何があるか知ることとても大切だと感じました。
- ・菊を育てる活動がいいと思う。自然を大切にすることが学べるから。クリーンセンター見学に行った時には、リサイクルの大切さを知ったからいいと思う。
- ・菊人形などの地域の伝統・文化を通して、吉浜を大切に思う気持ちが育っているように思います。またまち協さんとの連携もあり、こどもが安心して過ごせる地域になっていると思います。
- ・遠足で瓦の勉強をしたり、社会で吉浜の地図を使っていたりと、地域の事がわかり、イメージしやすい工夫がされている。

◆その他 全体を通して

- ・今、コロナ禍で何をやるにも制限がある中色々な工夫をして子供たちの為に尽くしてくれる先生方には感謝しております。子供たちもそれに対してとてもいい笑顔で答えている。とても嬉しいことです。
- ・みんな優しい。自分が子どもの頃「こんな事をしていたら悪目立ちして虐められていたのではないか」と思うようなことをしても、特に虐げられたり揶揄われたりしない。昔に比べて、多様であることに対して寛容なのかなと思う。
- ・学校でトラブルなどあれば、すぐに電話で報告していただきありがたい。
- ・古い学校ですが、いつ行ってもきれいにされていて子ども達が過ごすのにとっても良い環境だなと思います。

▲教職員への課題について

- ・児童に対しての言葉かけ、マナー（教職員間同士での注意や研修を取り入れます）

▲施設・設備について

- ・校舎の建て替え、トイレの改修（可能な限り修繕に努めます。また令和5年度から徐々に大規模改修工事が行われます）

吉浜小学校主題研究の実践例

(1) 第1学年の実践

① 教科・単元 生活科「あきのたのしさ はっけん」

② 単元の構想

本学級の児童は、遊びを通じた学習に意欲的である一方、与えられた課題に満足し、授業の中で自ら課題を考え取り組むことは少なかった。そこで、自ら課題を見つけ、工夫しながら課題解決に取り組むことができる子の育成を目指し、以下に示す手だてを立て、単元「あきのたのしさ はっけん」を設定した。

手だてア 子どもが強い問題意識をもつような工夫	期待する姿
① 朝の学級活動の時間に、身近な生活の中で見つけた秋を発表する。	・学びの呼び水となる活動で、自然と学びの入り口に立つ。
②児童の振り返りを基にして、次時の課題を立てる。	・児童の思いから成る課題に取り組むことで、意欲を高め続ける。
②毎時間の振り返りにおいて、「秋の楽しさを見つけ、集中ポイント」として5段階で自己評価する。	・自己評価する振り返り活動で、自らの学びを自覚する。
③ペア学級の6年2組に「秋ランド」で楽しんでもらうという課題を立てる。	・遊んでもらう相手の立場で考えることで、想像力をはたらかせて意欲的に学習に取り組む。
④色や形などの、秋の楽しさの視点を提示する。	・多面的な視点をもつことで、工夫の余地を見出し、課題を浮き彫りにする。
本校仮説①強い問題意識をもつような課題の工夫をすれば、子どもは自分の知識や技能と関連付けて解決したくなり、考えを深めることができるだろう。に関連する。	

手だてイ 子と子をつなぐ工夫	期待する姿
①秋を生かしている児童のおもちゃを紹介する。	・自分とは違う考えと出会うことで、さまざまな考えのよさに気付く。
②作ったおもちゃごとに遊ぶ場所を指定する。	・活動場所を共有することで、自分の考えを伝えたり、友だちの考えのよさに気付いたりする。
③互いのおもちゃで遊び合った後に「がんばったね」「ありがとう」シールを貼り合う時間を設ける。	・認め合う活動で、自分の活動に自信がつき、友達の活動のよさを表現する。
本校仮説②子どもの思考を整理したり、子と子をつなぐ工夫をしたりすれば、子どもは考えを深めることができるだろう。に関連する。	

上記に基づき、手だてを実践していけば、子どもの想像力を刺激し、創造力を育むことができるだろう。本実践では、最終目標を「秋ランドの開設」とした。

③ 実践と考察

〈手だてア〉子どもが強い問題意識をもつような工夫

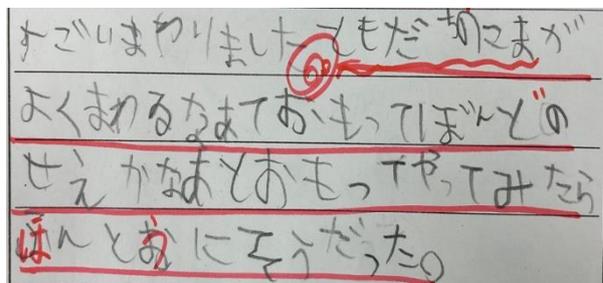
学びの呼び水となる活動で、児童が自然と学びの入りに立つことができるよう、朝の学級活動の時間を使って、「見つけた秋の発表」の機会を設けた。児童は、「長袖を着るようになった」「焼き芋を食べた」という家庭のことや、「寒くなってきた」「どんぐりが落ちていた」という自然の変化を発表した。発表を重ねるうちに、児童は自分の体験に目を向け、秋へと変わる季節の変化を意識できるようになった。

第1時では、朝の学級活動の発表を振り返り、公園に木の実が落ちていることを共有すると児童は、「拾いに行きたい」「どんぐりやいちょうをリースに付けたい」と、秋探しに意欲をもつことができた。中部公園で秋探しをする中で、児童は「丸いどんぐりを見つけたよ」と、友達と拾ったものを見せ合ったり、落ち葉の上で跳び跳ねて落ち葉の音を聞いたりしていた。五感を使って秋を探そうとする姿を見ることができた。何を拾ったのかと尋ねると、「どんぐり。学校のどんぐりより大きかった」と答える児童がいた。朝の学級活動で紹介されたどんぐりと比較しており、授業の時間枠を越えて知識と体験を結びつけていることが分かる。

拾った木の実や落ち葉でおもちゃを作りたいという児童の思いから、秋のおもちゃづくりを始めた。作ったおもちゃで遊び合おうと、児童は他の人にも遊んでほしいという思いをもった。そこで、想像力を働かせて意欲的に学習に取り組むことができるよう、ペア学級の6年2組に「秋ランド」で楽しんでもらうという課題を立てた。6年生に遊んでもらうおもちゃを考えたときには、「6年生のお兄さんたちなら、難しいおもちゃの方が楽しいと思うよ」「みんなと一緒に遊べるものが楽しいと思う」と、6年生が楽しめるという視点でおもちゃを選ぶことができた。どんぐりごま、どんぐりカー、すごろく、剣玉、ころころどんぐりの班に分かれ、おもちゃづくりを行った。おもちゃづくりでは、松ぼっくりが入った場所によって点数が変わる松ぼっくり剣玉や、どんぐりの笠に落ち葉で飾りを付けた駒のすごろくなど、ゲーム性や見た目の楽しさがある秋のおもちゃを作ることができた。更に、落ち葉を貨幣に見立て、落ち葉と交換でどんぐりごまを作ってもらったり、遊んでもらった後に落ち葉の飾りをプレゼントしたりと、おもちゃとは別の工夫を考えた。児童は、普段から交流のある6年2組の児童に楽しんでもほしいと、遊んでもらう相手の立場を考えて意欲的に取り組むことができた。

〈手だてイについて〉子と子をつなぐ工夫

児童が、自分とは違う考えに出会い、さまざまな考えのよさに気付くことができるよう、同じ種類のおもちゃを作っている児童の作品を個別に紹介した。どんぐりごまがまっすぐに回らず、まっすぐに回るように何度も回して試している児童がいた。児童の回し方は合っていたが、こまに使っているどんぐりがこまに適していなかった。児童に、「どうして回らないと思うかな」と尋ねると、始めは「回し方?」と答えた。そこで「どうしたら上手な回し方が分かるかな」と問い返すと、「上手な子に聞いてみようかな」と答えたので、どんぐりごまづくりが上手



ともだちのこまがよく回るなあっておもって「ぼんど」のせえかなとおもってやってみたらほんとうにそうだった。

な児童を紹介した。そして、大きいどんぐりがこまに適していることや、持ち手を短くするとよいことを教わり、まっすぐに回るこまを作ることができるようになった。また、ほかの児童の様子を見て、どんぐりの先端にホットボンドを付け、よく回るこまを作ることができた(資料1)。

認め合う活動で、自分の活動に自信がつき、友達の活動のよさを表現することができるよう、学級全体で遊び合った後に「楽しかったよ」「ありがとう」シールを貼り合う時間を設けた。友達同士で遊び合ったとき、児童は「24枚も貼ってくれた」「『楽しかったよ』シールをたくさんもらえたよ」と、とてもうれしそうにしていた。シールの枚数を数えている児童に「どうしていっぱいシールを貼ってもらえたのかな」と尋ねると、「マラカスを楽しんでくれたから」と答えた。児童は、友達に楽しんでもらえるおもちゃを作れたことを実感することができたようだった。

秋ランドの後には、6年生に「楽しかったよ」「ありがとう」シールを貼ってもらう時間を設けた。6年生は、「おもちゃだけじゃなくて、お土産も用意してるなんてすごいね」「楽しいおもちゃだったよ。ありがとう」と言ってシールを貼ってくれた。1年生児童は、シールを何枚もらったか数え、うれしがっていた。跳び跳ねて喜ぶ児童もいた。児童は、シールをもらうことを通して、視覚的にも相手が喜んでくれたことが分かり、6年生が楽しめる秋のおもちゃを自分たちが作れたことに気づき成長を実感することができた(資料2)。

資料2 児童の振り返りカード

わたしは、一ねん生になってから一ばんがんばったことがあります。それは、生かつでべんきょうしたあきのたのしきはっけんです。さいしょは、どんぐりごまやマラカスなど、じぶんのすきなものをつくって、あそびました。じぶんでつくったものであそぶのはとてもたのしくて、もっといろんな人にしってほしいとおもいました。みんなでかんがえて、六ねん生にあきのたのしきをつたえようときめました。そのとき、わたしは、やるぞというきもちになれました。

わたしのチームはゆうえんちをつくりました。ゆうえんちにはロボットとローラーすべりだいとクレーンゲームがあります。あそびにきてもらったら、100えんけんとどんぐりをわたしてゆうえんちであそびます。六ねん生のおにいさん、おねえさんがよろこんでくれてうれしかったです。そして六ねん生とあそんだことはわすれません。だってわたしがあきのたのしさがわかった日だからです。一月からもいろんなたのしさがはっけんできるようにがんばりたいです。



第4学年の実践

① 教科・単元 算数科「ONE STEP ツアー」～概数を使ってツアー作りに挑戦！～

② 単元の構想

本学級の児童は、「知りたい」「理解したい」と意欲的に取り組む児童が多い。特に算数の授業では、得意な児童は自分で答えにたどり着き発表したいという意欲を見せ、苦手な児童は話し合いを一生懸命に聞き理解しようとする姿勢が見られた。

しかしその一方で自分や友達の算出した答えが大きく間違っている、その答えが間違っていることに気付かなかったり、答えの根拠をはっきり言語化したりする児童は少なかった。これは問題に対しておおよその答えがいくつくらいになるかという見通しをもてないことや、曖昧な数量感覚による数の幅のずれに起因するだろう。児童は低学年から正確に数えて表したり、正確な数値を使って計算したりする学習を積み重ねているので、培った数量感覚を使い感覚的におおよその数の見当を付ける力は育っていると見える。しかしながら、導いた答えの妥当性について根拠を元に明らかにすることが難しい。

本単元で学ぶ「概数」のよさは、数の大きさが捉えやすくなることや問題解決の見通しを立てやすくなることである。根拠のある数量感覚をもつことができれば、今後の日常生活や学習において概数を役立てることができるようだろう。よって以下のように学習を進めた。

まずは、場合分けによる話し合いの場面の設定である。①実際の数値にできるだけ近い値で見積もればよいのか(四捨五入)、②実際の数値よりも上で見積もればよいのか(切り上げ)、③下で見積もればよいのか(切り捨て)の問題場面である。児童が場面ごとに適切な見積もり方法があることを見出せば、概数の利便性に気付き今後の生活においても概数を活用して物事を考えようとするだろう。

次に、身近なテーマパークに関係する概数を用いての(手立てア)学習である。児童にとって身近な概数を提示することで、概数に親しみをもちそのよさを実感できると考えた。ここでは児童がもつ数量感覚を引き出しながら次の思考につなげていく授業展開を目指した。また、名鉄観光の土屋さん(以下土屋さん)をゲストティーチャーとして招き、実際の仕事における概数活用を知り、名鉄観光の仕事の一つであるツアー作りに自分たちも挑戦したいという気持ちをもたせた(手立てア)。概数を活用する目標が明確にあれば、概数を学んでいく意欲を一層高めることができるだろう。

最終段階として行うツアー作りの過程では、処理した数を比較する場を設定し、目的に応じた概数になっているか評価し合った(手立てイ)。そこから、目的に応じた数の処理の仕方を見つめ直し、適切な数の処理の仕方について考えを深めた。

③ 実践と考察

〈手だてア 子どもが強い問題意識をもつような課題の工夫について〉

単元の導入では、ディズニーランドで実際に使われている概数を教材として活用した。ディズニーランドの写真を見せて数値を提示することにより、児童は「この数は何の数だろう」と興味をもって学習に取り組むことができた。第6時では、アトラクションの乗車数を用いて概算の学習を行った。興味のあるアトラクションの乗車数合計を出したいと思い意欲的に取り組んでいた。ここでは概数に直してから計算している児童を取り上げ、概算方法についての理解の定着を図った。児童は授業の振り返りに「次はどんな概数がディズニーランドにかくれているか楽しみ」と記述した。ここから概数に親しみをもったことが分かる。

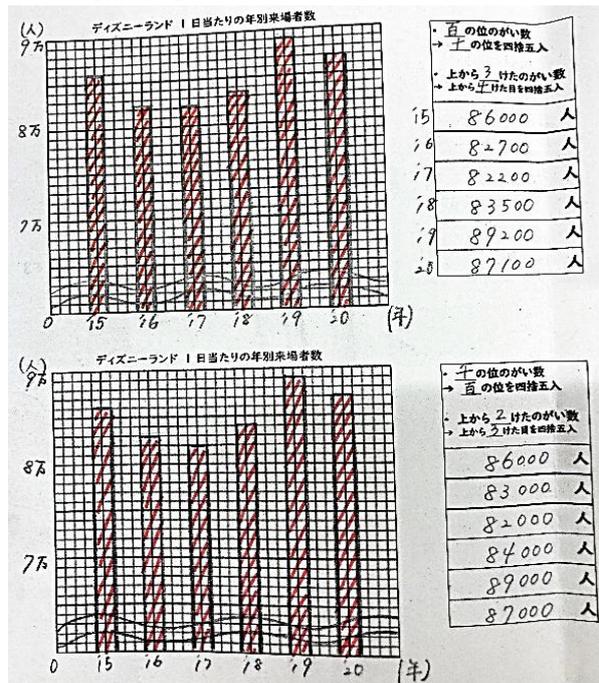
第2時では、土屋さんをゲストティーチャーとして招いた。仕事で概数を活用している例を知った児童は、第2時の振り返りに「今日はいつもの概数とは違ってツアーのことで表現したから（実際にどう活用しているのかが具体的になって）分かりやすかった。」と記述した。このことから概数の活用について理解を深めることができたと言える。児童は「早くツアーを作りたい」と意欲を見せ、概数を活用する目標をもって学習に臨んでいた。

概数の学習単元が終わりを迎えた時、児童から「家でもやりたいのでプリントの余りはありませんか」という声が上がった。この姿からも、児童らは楽しんでツアー作りを行い、概数を活用する面白さを実感できたと言える。

〈手だてイ 子どもの思考を整理する工夫について〉

概数を活用するには、「どの位までの概数にするのか」「切り上げ・切り捨て・四捨五入のどの処理の仕方が適切なのか」という目的に応じた概数の処理の仕方を判断する力が必要である。そこで、まず「どの位までの概数にするのか」に焦点をあて、処理し

【資料1】2パターンで書き比べた棒グラフ



た数を比較し、目的に応じた概数になっているかを評価し合う場面を設定した。第4時では、ディズニーランドの年別来場者数を比較するために概数を活用し、棒グラフに表した(資料1)。児童は、棒グラフを書く前は「実数に近い概数を使った方が差が分かりやすいのではないかと発言していた。しかし、書き比べることによって「このグラフなら千の位までの概数の方がいい。上のグラフは差はわかるけど大変。下のグラフは差もわかるし、書くのもかんたん。」とワークシートに記述していた。棒グラフを作成したことで「どの位までの概数にするのか」を場面に応じて考える必要性に気付くことができたと言える。

単元の終末には、「四捨五入して概算した値」と「実際の数そのままに計算した値」を比べ、結果が異なる場面に出会わせた。具体的には二つのツアー代金をそれぞれ「四捨五入して概算した金額」と「実際金額」で表し見比べる場面の設定である。概算で予算内に収まると踏ませ、実際は細かい数字が切り捨てられるため予算を上回る金額になるという、問題点を内包した例である。この例を考えることにより生活の中で生きて働く概算方法は短絡的な計算ではなく、意図をもって計算する必要があると気付くことができた。児童の振り返りには「いつでも四捨五入じゃだめだと思った」とあった。目的に応じた概数処理をすることが大切であると理解したことが分かる。また、「切り上げて概算した値が予算内に収まれば実際の合計金額も収まる」ということを、概数と実数を比べることでその考えの妥当性を評価することができた。

以上の実践から児童は導き出した数を根拠をもって説明したり、数字に隠された意図を考えようとしたりするようになった。今後も児童の考えが深まる学習展開を工夫していく。



令和3年度 吉浜小学校 学校関係者評価委員会
ご芳名

- 1 今年度の吉浜小学校の自己評価について、ご評価・ご意見・ご感想をお願い致します。
可能な範囲でメール等で配信したURLか右のQRコードを読み込んでのご返信
をお願いいたします。その場合は本用紙のご返信は不要です。



- 経営方針①「授業力が向上する主題研究体制の構築」について

自己評価	ご評価	ご意見・ご感想等
B		

- 経営方針②「目標管理による学年・学級経営の展開」について

自己評価	ご評価	ご意見・ご感想等
A		

- 経営方針③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」について

自己評価	ご評価	ご意見・ご感想等
A		

- 経営方針④「地域の方々とともに地域愛を育む教育活動の構築」について

自己評価	ご評価	ご意見・ご感想等
B		

- 経営方針⑤「教員の業務量の適切な管理等に関する働き方改革の整備」について

自己評価	ご評価	ご意見・ご感想等
B		

- 2 その他、何かありましたらお願いいたします。

--

【2月25日(金)までをお願いいたします。】

吉小だより

学校通信 第2号 No.1

令和3年5月10日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子
- 感謝する心をもつ子

子どもたちは元気に学習に励んでいます。

令和3年5月、新緑がまぶしい季節になりました。

子どもたちは、一つ上級生になった喜びにあふれ、元気に学校生活をスタートさせました。新1年生の子どもたちも、落ち着いた授業態度で、初めての学習に真剣に取り組んでいます。

まん延防止等重点措置が発出され(12日から緊急事態宣言発出)、本市は全小中学校授業参観の中止、家庭確認訪問への変更といたしました。予定されていた保護者の皆様には、誠に申し訳ございませんでした。また、5月のスポーツ大会、6月の緑の学校も秋に延期しました。今後も行事の変更があるかと思えます。状況を見ながらお知らせします。ご理解いただきますようお願いいたします。

子どもたちは、引き続き感染対策をしながら順調に学習を進めています。コロナ禍のため、教育委員会の指導により全てマスクを着けての活動ですが、教科により方法や進度等の工夫をしています。授業では、電子黒板やタブレットを生かし、どの子も意欲的に機器を活用しています。本来は4月の授業参観で、子どもたち全員がタブレットを活用した授業を公開する予定でしたが、ご参観いただけず残念です。今後、実施時期を検討します。

体力づくりには、午前と午後に25分間の休み時間を設けて、仲間との外遊びを推奨しています。担任の先生も子どもたちと一緒に体を動かしています。休み時間の最後には、しっかり手洗いの時間を確保してから入室しています。

マスクを外す給食時には、食前、食後の手洗いはもちろん、全員同じ方向を見て黙食をし、食後はすぐマスクをして片付けるという流れで統一しています。新1年生の給食も4月20日(火)から始まりましたが、上手に準備、黙食、片付けができています。

さまざまな感染対策をしておりますが、毎朝登校後の手洗いと、ご家庭で記入していただく健康チェックカードの点検を重視しています。保護者の皆様のご協力をお願いします。また、常時換気を行い、密を避け、手洗い場所等には待機場所を示し、特別教室等には消毒を置くなど、自ら予防できるよう指導を進めます。

コロナ禍ではありますが、今年度もコロナに負けず、どの学級も張り切って学習する子どもたちの姿がたくさん見られます。昨年同様、子どもたちは、環境に応じて、強く生き抜く力を身に付けていくようです。子どもたちは本当にたくましいと実感します。私たちは、子どもたちの「仲間とともに学びたい」という気持ちを尊重

し、子どもたちが仲間とともに学ぶ楽しさや喜びを味わい、向上心をもって努力する子に育つよう支えていきたいと思えます。そして、ピンチをチャンスに変え、自らの力でたくましく自分の未来を切り拓く、主体性と社会性を備えた人間性豊かな子を育成するよう努めてまいります。

今年も様々な願いをさせていただくことがあるかと思えます。恐縮でございますが、今後とも引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



児童会と委員会によるあいさつ運動



5年生 話し合い活動も端末を活用



よしのめ 給食の配膳方法を練習



1年生 給食は前を向いて黙食

児童会役員、委員会委員長、学級委員を任命しました。

児童会役員、委員会委員長、学級委員の任命を行いました。

そして、小原会長さんから、元気なあいさつと、今年度のスローガン

「 心を一つに みんなで レベルアップ 」

の発表がありました。力強い発表に、役員の方々の意気込みを感じ、うれしく思いました。

それぞれの立場のリーダーとして、子どもたちの考えによる主体的な活動が展開されるよう、みんなをまとめてくれることを期待しています。

児童会役員 6の3小原 蒼人 (会長)

6の1加藤 景彪 6の2高木 心喜 6の3杉浦憂志朗 6の4坂田 月菜

5の1中川 真志 5の2瀧本 彩葵 5の3早川 太偲 5の4高橋 莉子

委員長 福祉：6の1福岡 蓮士 図書：6の4毛受 浩人 放送：6の1杉浦 咲良

園芸：6の1馬場 柚希 美化：6の2市古 晴真 保健：6の2酒本 梨愛

体育：6の1久世 悠聖 給食：6の1山本 怜生 生活：6の1加藤 優希

掲示：6の1川崎 柊

学級委員

	6年	5年	4年
1組	杉浦光志朗、大澤 琉奈	堀 大輝、柴田 彩音	内藤 大希、濱島 怜
2組	久須美陽生、酒井 紅衣	内藤 煌太、清水 里乙	内藤 陽向、中村莉緒奈
3組	鱸 一瑳、橋谷 結月	大矢 瑛斗、安江 恵菜	都築 建人、南條 奏音
4組	内藤 暁、内藤 心乃	早川 幸輝、杉浦 結香	長坂 晴、遠山 明莉

1年生の成長がめざましいです。

1年生の皆さんは、初めての学習に真剣に取り組んでいます。給食時も、落ち着いた姿勢に感心します。6年生のお兄さん、お姉さんの温かいサポートのおかげもあり、すてきな吉浜っ子に成長しています。



学活 好きな絵を描き足しながら自己紹介カードを書いています。



算数 先生とお友達と3人で、ブロックの数を数えています。



算数 お友達とペアで、ブロックの数を数えています。



図工 好きなものを粘土でつくります。



生活 春の草花や虫を見つけるために、校庭に出かけます。



算数 数字の書き方を練習しています。

令和3年度吉浜小学校 こんな取組をします。



教育目標

強いからだと美しい心を持った児童を育成する
考える子 健康な子 素直な子

【目指す子ども像】

「ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子」

ともに学びを深めようとする子 主体的に活動できる子 感謝する心をもつ子

【具体的な子どもの姿】

- ・ふるさとに誇りをもち…地域の一員として自立した大人になるために、地域愛や感謝する心を育み、誇りをもって地域に貢献しようとする姿
- ・ともに学んで……児童が互いに聴き合い、考え、語り合い、ともに学びを深めようとする姿
- ・未来を拓く……自信と希望をもって中学校に進み、自分で未来を拓く力を育むために、主体的に考え、判断し、協働して実行する姿

【学校経営ビジョン】 地域の一員としての基盤を育み、自信と希望をもって中学校に進むことができる学びを保証する教育を追究する。

- 【学校経営方針】
- ①教員の授業力が向上する主題研究体制の構築
主体的・対話的で深い学びのある授業研究を進める。
 - ②目標管理による学年・学級経営の展開
児童にとって居心地がよく、自己向上力を育む学年・学級づくりを進める。
 - ③児童の主体的な活動を育む支援体制の強化
児童自身が行事や活動を振り返り、次の取組につなげる。
 - ④地域の方々とともに地域愛を育む教育活動の展開
地域の方々とともに協働し、感謝する心と地域愛が育つ活動を行う。

【本年度の重点】

新型コロナウイルス感染防止に努めながら、児童の学びを保証する教育活動に取り組みます。

- ともに学びを深めようとする子
 - ・互いに聴き合い、考え、語り合い、仲間とともに学びを深めようとする児童を育てます。
 - ・児童が学習意欲を高め、問題意識をもつ課題の設定を工夫します。
 - ・ICT機器の活用とともに、児童の実態を捉え、児童の思考を整理したり、児童と児童の考えをつなげたりする工夫をして、児童の考えを深めていきます。
- 主体的に活動できる子
 - ・児童が互いの良さを認め合い、自分の成長に気付くことができる学校行事や児童会活動、交流活動等を、児童自ら企画・協働し、振り返り、更新策を次の取組につなげることで、児童の主体性を育みます。
 - ・主体性や社会性が身に付く教育活動により、豊かな未来を創造しようとする力を育みます。
- 感謝する心をもつ子
 - ・地域の方々との野菜栽培、福祉学習、菊の栽培、菊人形制作、防犯・防災等の活動を通し、感謝の心と地域愛を育みます。
 - ・学校と保護者・地域との連携を密にし、協働して、心豊かな児童の育成に努めます。

【新型コロナウイルス感染防止の主な対策】

- ① 健康観察の充実…毎朝8時20分の健康観察で体調不良の児童は早急に家庭連絡し、別室対応をします。
- ② 手洗いタイム……1日8回(登校後、午前長放課前後、給食前後、午後長放課前後、下校前)とします。
トイレ後、長放課後、給食前は、石けんとシャボンネットで洗います。その他、特別教室入室前後、体育等の室外の授業後は、教室入室前に手洗いをします。適宜消毒をします。
- ③ 体力づくり……長放課(25分)には、外遊びや運動を推奨します。雨天時は、ビデオ放送や読書等をします。
- ④ 消毒タイム……給食時、清掃時、下校後等、特別教室等、適宜消毒や該当場所の拭き取り消毒をします。
- ⑤ 生活指導……手洗いタイム、給食、清掃、授業等では3密や感染を避ける指導を常時行います。

学校生活より



不審者対応の避難訓練を行いました。



毎日清掃をしっかり行っています。



休み時間は外で元気に遊びます。



2年生活 春の草花を見つけました。



2年生活 春の草花を観察します。



2年音楽 世界の挨拶を音楽で表現します。



3年体育 リレーのバトンパスの練習です。



3年図工 花を観察し絵の具で描きます。



3年社会 地図記号を端末で調べます。



4年国語 音読発表会をしています。



4年図工 木を観察し端末で撮影します。



4年図工 端末の木の写真を見て描きます。



5年英語 スモールトークの練習です。



5年体育 カードを裏返すゲームです。



5年 心を落ち着けて書道に臨みます。



6年図工 お気に入りを描いています。



6年理科 ものの燃え方の実験です。



6年体育 陸上の幅跳びの練習です。

吉小だより

学校通信 第3号
令和3年5月21日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子
- 感謝する心をもつ子

元気に学校生活を送っています。

早い梅雨入りの合間に、初夏の風を感じます。

緊急事態宣言の発令中であり、学校行事や活動の変更が多く、申し訳ございません。感染防止による活動の制限もありますが、子どもたちは元気に登校し、順調に学校生活を送っています。最近、気温が30度近くになる日もあり、熱中症対策も必要になってきました。学校では、子どもたちの健やかな成長を願い、できる限りの感染対策と熱中症対策を講じます。ご家庭でもお子様の毎日の体調管理には十分ご留意ください。今後とも引き続き保護者の皆様のご支援、ご協力をお願いします。



2年生活科 夏野菜の栽培

楽しかったお楽しみデー

5月7日（金）に、お楽しみデーを行いました。各学年ごとに新しい仲間と絆を深める学習を計画し、校内外で、教室から離れて活動しました。給食も、子どもたちの好きなカレーを中心にしたお楽しみ献立で、お腹も満足した楽しい1日となりました。



1年 中部公園



2年 大山公園



3年 吉浜まち探検



4年 小垣江公園



5年 フローラルガーデン



6年 体育館：仲間づくりワーク

がんばる1年生

1年生もすっかり学校生活に慣れ、体力テストの練習に力一杯取り組んでいます。



50m走：よいい、ドン



ボール投げ：思い切り遠くへ



立ち幅跳び：腕を大きくふって

学校生活より



サッカークラブの活動



外スポーツクラブの活動



バドミントンクラブの活動



バスケットボールクラブの活動



トランプクラブの活動



折り紙クラブの活動



マスコットクラブの活動



将棋クラブの活動



マンガクラブの活動



脳トレクラブの活動



クラフトクラブの活動



レククラブの活動



百人一首クラブの活動



1年 いつも給食おいしいね



2年 休み時間にたっぷり水やり



3年 読み聞かせに五感を集中



4年 図工 つないで組んですてきな形



5年 体育 ベースボール大会に向けて

吉小だより

学校通信 第4号
令和3年6月9日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

梅雨に入りました。

校庭のアジサイも満開になり、美しく咲き誇っています。梅雨に入り、蒸し暑い日が続いています。暑さに慣れない体には、熱中症が心配です。そのため、体育の授業や登下校時には、間隔を十分に開けてマスクを外すことも大切です。さらに、登下校時には、信号待ちや狭い歩道を歩くときは、密にならないよう、自分から気付いて人との距離をとったり、マスクを着けたりするなどの行動ができるよう指導しています。また、登下校での傘差し登校も可としております。日差しを避け、人との間隔を開けるには有効と考えます。雨天の日も多くなります。ご家庭でも傘の使い方をご指導いただきますと幸いです。

学校では、今後も、新型コロナウイルス感染防止と熱中症予防の対策を講じます。教室では、室温が28度になるように、換気をしながらの細かな温度管理のためにエアコンを活用します。変異ウイルスの流行も心配ですので、日頃の学校生活ではマスク着用とともに、十分な水分補給、人との間隔の確保、消毒、手洗いの徹底等を進めます。児童が集中して学習に取り組み、安心して学校生活を楽しめるよう努めます。引き続き、ご家庭での入念な健康チェック等にご協力賜りますと幸いです。



清掃時にいつも清掃係の児童が傘をきれいに揃えています。

学校探検にわくわくどきどき

1年生は、6月2日(水)に、学校探検を行いました。例年では、2年生のペア学級の皆さんに案内をしてもらいますが、今年は、事前に2年生から校内のお楽しみポイントを教えてもらい、その後、1年生で学級ごとに探検をしました。職員室や特別教室等では、どの子ども目もきらきらさせ、興味津々で担任の先生の説明を聞いていました。入学後2か月が過ぎましたが、児童は学校生活にも慣れ、学習への姿勢もりっぴな吉浜っ子に成長しています。



校長室の人文字の航空写真が人気

避難訓練はスムーズに行動

6月7日(月)午後から、暴風警報が発表されたときの緊急下校避難訓練を行いました。保護者の迎えを待つ学校待機の児童は、体育館にまとまって集合しました。一斉下校の児童は、教室から下校しますが、兄弟・姉妹のいる児童は、下の子の教室で一緒になってから下校しました。どの子どももスムーズに行動できました。訓練を生かし緊急時に備えます。



1年生もスムーズに行動

すてきな吉浜っ子

5月28日(金)に、6年生の数人の児童が、小池町のゴミステーションで散らかっていたゴミを進んで片付けてくれて大変きれいになったと、市教育委員会から連絡がありました。高浜衛生様がこのことに深く感心され、感謝の気持ちを伝えていかれたとのこと。すばらしい行動に学校中が沸きました。すてきな吉浜っ子を誇りに思います。



清掃前



清掃後

学校生活から



1年国語 ひらがなの練習に集中



1年生活 虫をたくさん見つけたよ



1年図工 はさみでちよっきんば



2年体育 リズム運動、楽しいね



2年国語 いい姿勢でみんなで音読



2年生活 夏野菜の成長が楽しみ



3年図工 カラフル粘土で容器を飾ろう



3年書写 一筆に心をこめて



3年図工 袋の中に飾るものを作ろう



4年理科 電流の働きを調べよう



4年図工 カラフル紙バンドで作ろう



4年総合 インターネットの使い方



5年社会 昔の田植えを学習



5年総合 農園で現在の田植えを見学



5年体育 学年ベースボール大会に挑む



6年図工 お気に入りの絵の完成間近



6年国語 全国学力テストに挑む



園芸委員会 よりよい学校生活のために

吉小だより

学校通信 第5号
令和3年7月 1日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

学びの充実

7月を迎え、校庭から蝉の声が聞こえるようになりました。まん延防止等重点措置も終盤となりましたが、子どもたちは、コロナ対策と熱中症対策に気を付けながら、毎日の授業に励んでいます。5月のスポーツ大会は10月に、6月の5年生の緑の学校は9月に延期になるなど、楽しみにしていた行事が変更になり、残念に思う子どもも多いと思います。しかし、どの子どもも状況を理解して落ち着いて授業に取り組んでいます。

子どもたちにはタブレットを使った学習が人気で、調べ学習やドリル学習、写真撮影や発表等さまざまな場面で活用しています。また、自然とふれあい、生き物や植物を観察して育てたり、ゲストティーチャーをお招きして職業観にふれながら教科学習を進めたりするなど、楽しい授業が進められています。学習に専念できるこの時期に、しっかり学力の充実を図ってほしいと思います。

夏休み前に、個人懇談会があります。懇談会では、これまでの学習の成果や生活の様子を共有し、今後の成長につなげていきたいと思っております。暑い中ですが、よろしくお願いたします。これから暑さが本格的になります。ご家族の皆様もくれぐれも健康にご留意ください。引き続き、お子様の入念な健康チェック等にもご協力賜りますと幸いです。



2年生生活 生き物を優しくお世話



4年算数 旅行会社のツアーづくりを体験しながら概数を深く学ぶ

まち協さんと菊の定植

今年も、6月中旬から下旬にかけて、3年生から6年生までの児童が、吉浜まちづくり協議会の方々のご指導の下、菊の定植を行いました。菊は高浜市の花です。

4年生は、今年も総合的な学習の時間に、菊人形の制作に取り組みます。そこで、6月24日（木）と25日（金）に、まちづくり協議会の方々から、吉浜のまちが誇る伝統文化である細工人形と菊人形の歴史を学びました。吉浜の細工人形は、伝説では350年以上も前から作られていたようですが、わかっている確かな歴史は160年以上前からであり、現在も細工人形の歴史の研究が進められているということです。現在は、県の無形文化財に指定されています。そして、その細工人形から菊人形がつくられるようになり、吉浜から多くの菊師（菊人形づくりの専門家）さんが輩出され、全国で活躍されていたこと、しかし現在、吉浜の菊師さんはお一人のみで、今後、多くの方に関心をもっていただけるよう、文化の伝承を目指して活動を続けていくこと等のお話がありました。

市の無形文化財に指定されている菊人形です。吉浜小学校では、平成20年から、毎年4年生が、まち協さんのご指導の下、継続して作っています。これからテーマを決めて菊人形の図案づくりを進めます。どんな菊人形が完成するでしょうか。お楽しみに。



まち協の役割を語る都築会長



ケーブルテレビの取材にて



校庭に菊人形の小菊を定植



一人一鉢の菊づくり 丁寧に

学校生活から



1年図工 筆で描いた線が いい感じ



1年学活 タブレットの使い方



1年生活 アサガオの成長すごいね



2年国語「名前を見てちょうだい」音読



2年体育 登り棒のてっぺんへ



2年体育 足かけ回りをくるくると



3年 初めての菊づくり 毎朝水やり



3年体育 リズムにのって足じゃんけん



3年図工 袋の中に飾るもの 完成間近



4年音楽 手拍子を楽しく組み合わせて



4年理科 電流の働きで車を走らせる



よしのめ さつまいものつるさし



5年社会 端末で国土の気候と特色を確認



5年理科 種の発芽と成長を観察



5年 読み聞かせの絵本で食育を学ぶ



6年国語「風切る翼」の意味を考える



6年家庭 布袋をミシンでソーイング



6年総合 最後の菊づくり 愛情込めて

吉小だより

学校通信 第6号
令和3年7月19日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

夏休みも元気に

本格的な夏の到来を感じます。4月から約4か月、コロナ禍による学校行事や活動等の延長や中止がありましたが、どの学年の児童も学習に集中し、立派に成長しました。タブレットの配付から1年、授業風景も変わりつつありますが、今後もICT機器を上手に活用し、教育の不変と流行を見定め、児童の成長に必要な学習を進めていきます。

7月13日（火）からの懇談会には、お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。お子さんのがんばっていることや伸びていること、今後の課題等についてお伝えしました。保護者の皆様からは、ご家庭での様子や学校への要望などをお聞きすることができました。今後も児童の成長を願い、学校と家庭と連絡を密にして取り組みます。

間もなく夏休みです。オリンピックも始まります。今後の感染状況も心配ですが、長い休みを利用して普段できないことに挑戦し、成長した姿を9月に見せてくれるよう期待しています。事件や事故には十分注意し、元気に過ごしてくれるよう願っています。



1年生活 シホン玉 きれい



2年生活 豊作の夏野菜

7月から各学級での公開授業開始

高浜市では小中学校全学級で授業を公開しています。本校の初回は4年生の算数です。旅行会社の社会人講師の先生から学んだことを生かし、自分たちの班で計画した東京と大阪のおすすめツアーが、観光地、旅館、食事、交通費を含めて予算内かどうかを概算で見通す学習に取り組みました。どの子ども身を乗り出して楽しく学び、数字の不思議さを実感しました。今後も児童が主体的に学ぶ授業を年間を通して進めます。



4年算数 私たちのイチオシツアーを紹介

防犯学習で吉浜のまちを守ろう

5年生は防犯学習にて、碧南警察署の生活安全課の伊藤様から碧南・高浜の最近の事件と予防策について、吉浜まちづくり協議会都築会長様から防犯活動についての講話をお聞きしました。学区では侵入盗や自転車盗、特殊詐欺、SNSに関わる事件など様々な事件があり、伊藤様は「ぜひ家族で防犯について話し合い、予防策を考えてほしい」と話されました。また、まち協さんの防犯パトロールが大変役に立っていることもわかりました。5年生はこれから、自分たちでできることを探りながら防犯学習を進めていきます。



いつも施錠を忘れずに

福祉実践教室開始

3年生が福祉実践教室を開始しました。初回は手話の学習です。講師の榎原様は「病院や災害時に聴覚障害者を見かけたら肩を叩いて情報を教えてほしい」と手話で語られました。児童たちは、クイズや質問コーナーで障害について学び、手話や口話、指文字等で互いにコミュニケーションをとりました。児童の手話が上手で感心しました。優しい気持ちで助け合える吉浜っ子に育ててほしいです。



榎原様に手話で名前を伝えます

学校生活から



1年音楽 リズムにあわせて



1年生活 ジャンボシャボン玉をつくろう



1年生活 船をうかべて水遊びをしよう



2年道徳 クラスを大へんしんさせよう



2年生活 室内の電子黒板で交通安全教室



よしのめ タブレットで自己しょうかい



3年英語 How many?



3年国語 タブレットでローマ字練習



3年理科 風とゴムの働きで車を動かそう



4年算数 ディズニーの入場者数を概数で



4年図工 組み合わせを工夫して箱作り



4年総合 まち協さんに感謝の手紙を贈呈



5年社会 米作りが盛んな地域の特徴



5年英語 なりたい職業を聞き取ろう



5年学活 クラス会議で休み時間の活動を討議



6年理科 植物の茎の中を観察しよう



6年道徳 よりよい人間関係のために



よしのめ算数 あわせていくつかな

吉浜小学校の目指す子ども像

吉小だより

学校通信 第7号
令和3年9月15日

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

○ともに学びを深めようとする子

○主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

緊急事態宣言下の学校生活について

朝夕は、めっきり過ごしやすくなり、夜は虫の音がにぎやかになりました。

コロナ禍による緊急事態宣言により、9月の学校開始を心配しましたが、子どもたちは以前と変わらず元気に学校生活を送っています。緊急事態宣言下ですので、高浜市教育委員会からの【「緊急事態宣言」を踏まえた高浜市立学校の対応について】の指示に則り、学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事等も含めた学校教育活動を継続し、子どもの健やかな学びを保障していきたいと考えています。また、手洗い、消毒、換気、マスクの正しい着用などの基本的な感染予防対策の徹底と、学校生活のあらゆる場面で対策を促進します。子どもたちの安心安全な学びを進めるため、ご家庭での朝の健康チェックとともに学校との情報共有や連携が重要と考えています。今後ともご協力、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

高浜市教育委員会からの感染拡大防止対策の中の主なものを記載しました。なお、本校だけがやっている対策も含まれています。

学校の教育活動における基本的な考え方

- 三密（密閉・密集・密接）の条件が同時に重なることを避けます。教室内の身体的距離については、最低1mを目安に教室内で最大限の間隔を確保します。
- 各活動後及び教室に入る前の手洗いの習慣をつけるよう指導します。
- 児童の多くが触れる箇所（ドアノブ、電気のスイッチ、階段の手すり、トイレの個室扉など）の消毒を1日1回実施します。
- 窓を開け、換気扇や扇風機を使って換気を徹底します。雨の日も気をつけて窓を開けます。

授業における留意事項

- 学習活動について
 - ・ペアワーク等は必要最低限とし、行う場合はペアを固定し、極力短時間で行います。
 - ・体育については、集団で行う活動は避け、なるべく個人で行う活動とします。2～3人程度の特定の少人数での活動を行う場合は、十分な距離を空けて行います。
 - ・体育の授業におけるマスクの着用は必要ありませんが、運動を行っていないときは、可能な限りマスクを着用します。ただし、マスクの着脱については、熱中症への対策を優先し、着用しない場合は人との身体的距離を十分に確保します。
- 学習活動で中止とする活動
 - ・「近距離で一斉に大声を出す活動」
 - ・「長時間かつ近距離で対面形式となるグループワーク等」
 - ・理科における「児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
 - ・音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
 - ・図画工作における「児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
 - ・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
 - ・体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

給食における留意事項

- 給食当番の児童生徒について
 - ・給食当番を行う前に、健康状態を担当が確認します。
 - ・体調が悪い場合は交代、交代した児童生徒は、予備の白衣を使用します。

- ・正しい方法でマスクを必ず着用し（鼻と口を覆う）、手洗いと手指消毒を徹底します。
- ・飛沫感染を避けるため、必要以外の話はせずに配膳します。

○ 喫食について

- ・窓を開けて、換気しながら喫食します。また、食事中的の会話は控えるよう指導します。
- ・会食はせず、一方向を向いて喫食します。職員の給食も同様に行います
- ・食べ終わった子からマスクを着用し、片付けます。片付けた後も手洗いをします。

休み時間における留意事項

- ・密集したり、近距離で接触したりする遊びは行いません。原則としてマスクをつけて過ごしますが、屋外や他との間隔が十分確保できる場合は外すことも認めます。
- ・移動の際、壁やものに触ることをできるだけ避けるようにします。ハンカチ等の貸し借りはしないよう指導します。

主な対策を紹介しました。授業では、できることは何か、どうすれば学びが深まるのかを考えながら進めています。職員一同、最大限の努力をしています。

今は、誰が感染してもおかしくない状況ですが、本校では、高浜市教育委員会の指導の下、感染防止対策を強化し、濃厚接触者を出さないよう努めています。ご参考までに、文部科学省から出されている文書の【濃厚接触者の候補】を掲載します。

濃厚接触者の候補

- ・感染者と同居又は長時間の接触があった者
- ・適切な感染防護なしに感染者を介護していた者
- ・感染者の飛沫（くしゃみ、咳、唾等）に直接接触した可能性の高い者（1メートル以内の距離で互いにマスクなしで会話が交わされた場合は、時間の長さを問わずに濃厚接触者に該当する場合があります）
- ・手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なし（※）で、感染者と15分以上の接触があった者（例えば、感染者と会話していた者）

※必要な感染予防策については、マスクを着用していたかのみならず、いわゆる鼻出しマスクや顎マスク等、マスクの着用が不適切な状態ではなかったかについても確認する。

ご家庭でもマスクの正しい着用の仕方や素材について話し合ったり、鼻を覆えるようにマスクのひもの調整をしたりしていただくとありがたいです。よろしくお願いいたします。

学校生活から

コロナ禍でも、子どもたちはいつも元気で意欲的に学んでいます。



1年図工 風でふわふわするおもちゃ作り



2年体育科 マット運動で倒立練習



3年図工 光と影を生かした飾り作り



4年図工 へんてこ山の物語を考える



5年学活 緑の学校のスタンプを話し合う



6年書写 「中秋の名月」に集中

吉小だより

学校通信 第8号
令和3年10月5日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

○ともに学びを深めようとする子

○主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

秋晴れの心地よい季節となりました。間もなく前期末を迎えます。

10月から緊急事態宣言も解除され、子どもたちは継続して感染対策を行いながら、元気に学習に取り組んでいます。全員無事に後期を迎えることができそうです。

後期は、いろいろな学校行事を予定しています。校外学習は、台風接近のため14日（木）に、9月に予定していた緑の学校と修学旅行は、11月に延期して実施します。28日（木）は、学年スポーツ大会を開催します。子どもたちは保護者の皆様の参観を楽しみに練習に励んでいます。さらに、11月20日（土）には町別授業参観を実施します。6年生は、吉小の伝統である音楽会を引き継ぎ、ミニコンサートを行います。コロナ禍のためできないこともあります。できる範囲で工夫して行います。今後も子どもたちの学力向上とともに心と心のつながりや社会性の伸長を図り、目指す子ども像にせまるよう努めて参ります。ご家庭でも引き続き感染対策にご留意いただき、学校生活へのご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

学習の秋、授業が充実しています。

本校では、目指す子ども像の具体の一つ「ともに学びを深めようとする子」の育成に向けて、「主体的、対話的で深い学び」のある授業に取り組んでいます。これは、子どもたちが主体的に取り組み、自分の思いや願いを語り合う対話を通して、ともに学びを深めようとするものです。コロナ禍でも仲間と学びを深める姿を追究しています。



1年生活 虫とりで生き物となかよし



1年生活 捕った虫をじっくり観察



1年生活 捕った虫の名前を調査



2年生活 町探検の前に吉浜を調査



2年国語 指で文字を指しながら音読



よしのめ さつまいも畑の草取り



3年総合 アイマスクとガイドヘルプ体験



3年総合 消毒の仕方を支援する



3年防火教室 消火器の使い方を学ぶ



3年防火教室 消火器の使い方を練習



4年書写「竹笛」を一筆ごとに集中



4年算数 商が一けたのわり算問題



5年体育 キャッチャーになって前進



5年体育 ペットボトルを抱えて走る



5年算数 数値を円グラフで表す



6年体育 フラッグ演技の練習を開始



6年総合 訪問先について調査



日本語教室 主語と述語を学ぶ

岡本碧優選手が来校しました。

東京オリンピック スケートボードパーク女子に出場した岡本碧優選手(吉浜小出身)が、9月17日(金)に本校を訪問しました。児童会による岡本選手へのインタビューが行われ、全校児童が教室でリモートによる岡本選手との対談を楽しみました。岡本選手は、オリンピック選手用のオレンジ色のユニフォーム姿で、各学年で一つに絞った質問にそれぞれ丁寧に答え、全校を沸かせました。岡本選手は最後に「好きなことをぜひ続けてください」と語り、子どもたちは自分の夢を大きく膨らませました。オリンピックで最後まで大技に挑み、仲間称えられ抱え上げられた岡本選手の姿に、私達は大きな勇気と感動を覚えました。子どもたちの心に一生残る思い出となったことでしょう。

おめでとう

交通安全ポスター展

- 高浜市長賞：6年 水野友耀
- 高浜市交通安全協会会長賞：1年 竹下唯佳
- 高浜ライオンズクラブ会長賞：3年 長内悠斗
- 高浜市交通安全指導員会会長賞：4年 篠原梨乃・5年 小林柚葉
- 碧南警察署署長賞：2年 矢野 奏

非行防止、地域・家庭のふれあいに関するポスター・図画

- 優秀賞：3年 大原 璃人

海の標語入賞作品

- 市長賞：6年 高木心喜 「目指そうよ ゴミ一つない 吉浜の海」
- 県議賞：5年 内藤汐音 「ゴミ拾う 未来につながる 碧海の海」
- 校長賞：6年 新美咲季 「ポイ捨ては 海や心を 汚すもの」

多文化共生社会の実現 作品展

- 優秀賞：6年 小野紗和(書道)
- 優秀賞：6年 新美咲季(ポスター)

おらせ

市内全小中学校にて、緊急時用の防災食として、レトルトカレーを全校児童生徒に1袋ずつ、学校に常備することとなりました。学習費にて購入します。よろしくご了承のほどお願いいたします。

吉小だより

学校通信 第9号
令和3年10月29日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

○ともに学びを深めようとする子
○主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

実りの秋

順調に後期がスタートし、子どもたちは学習、学校行事に充実した毎日を過ごしています。楽しみにしていた校外学習では、どの子も大変嬉しそうにお弁当を頬張り、仲間と仲良く学び合いました。また、学年スポーツ大会では、多くの皆様のご来場を賜り誠にありがとうございました。成功裏に終えることができましたのも、保護者の皆様のご協力の賜物と心より感謝申し上げます。今後も吉浜っ子の実りある学びを求めチーム吉小は前進します。



よしのめ校外学習 明石公園

学級の絆を深めて

秋の清々しい天気の下、10月14日に、1年から5年は徒歩で、6年はバスで校外学習に出かけました。学年・学級の仲間の良さを再確認し、絆を深めることができました。



1年 中部公園



2年 町探検



3年 森前公園(鬼みち巡り)



4年 亀崎海浜緑地



5年 渡し場海岸散策(海の学校)



6年 リトルワールド

ゲストティーチャーに学ぶ

総合的な学習では、3年生は福祉を、4年生は環境問題を学んでいます。3年生は、9月30日に藤浦和子先生と神谷民子先生から視覚障害の方の暮らしの工夫を教わりました。視覚障害のある藤浦先生のりんごの皮むきの実演には驚きました。そして自分で点字を使って書いた自分の名前を、藤浦先生に読んでいただくと、どの子も嬉しそうでした。

4年生は、10月20日にあいちエコティーチャーの方々から、ペットボトルのマイクロチップの問題を学びました。実際に海岸で落ちていたマイクロチップを見せていただき、その行方を話し合うことで、ごみ問題の重要性を実感しました。そして、この問題の解決のために、自分にできることを発表し合いました。3年生も4年生もこの学びを生活に生かせるよう願います。



3年 点字を解読



4年 エコティーチャーに学ぶ

訪問ミニコンサートで名曲鑑賞

10月20日に豊田自動織機（株）による訪問ミニコンサートが行われ、5年生と6年生が鑑賞しました。チェロの佐藤晴真さん、ピアノの實川風さんが来校され、サンサーンス作曲「動物の謝肉祭」より「白鳥」、フランク作曲「チェロソナタ」等の名曲の数々を演奏されました。演奏の合間には、佐藤さん、實川さんが、子どもたちの質問「練習をどれぐらいしますか」等にも丁寧に応えてくださり、会場を沸かせました。久しぶりの生演奏に子どもたちも大変集中して聴き入っていました。音楽を生涯楽しむ、心豊かな吉浜っ子の成長を願っています。



佐藤晴真さんと實川風さん

学年スポーツ大会で吉浜っ子が輝く

10月28日、爽やかな青天の下、待ちに待った学年スポーツ大会が開催されました。子どもたちはこれまで、学年の仲間と励まし合いながら練習を重ね、本番は仲間と心をつなげて力一杯の演技を披露しました。行事は子どもたちを大きく成長させます。心・技・体を高め、一回りも二回りも成長した吉浜っ子が最高に輝いた1日でした。



よしのめ 熱戦玉入れ



1年 大玉ころころ



2年 リズム演技「ハピネスで笑顔に」



3年 くるくるボール運びリレー



4年 令和版クラス対抗陣取り合戦



5年 バラエティリレー



6年 フラッグ演技「つないだ絆」

学習場面から



1年図工 ひかりのくから



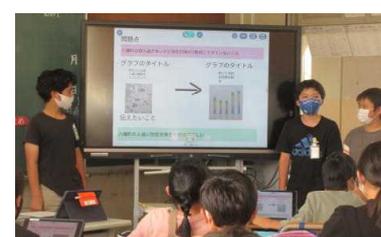
2年国語 ビーバーのクイズづくり



3年理科 糸電話をつくって実験



4年道徳 岡本碧優選手から学ぶ



5年算数 吉浜の防犯の実態をグラフ化



6年理科 水溶液の性質調べ

吉小だより

学校通信 第10号
令和3年11月5日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

学年スポーツ大会の余韻が残ります。スポーツ大会を通して、子どもたちの成長が見られ、嬉しく思います。行事で子どもは様々なことを学び、本当に大きく成長します。仲間と心をつなげて力を合わせるこのすばらしさ、励まし合い助け合えばできなかったこともできるようになった仲間の尊さ、悔しさも喜びも自分の成長につながったことに気付いた喜び、そして何より自分が成長したことの実感等、学びは多彩です。次の授業参観、6年生の音楽発表会も、子どもたちは、がんばった成果をお見せしたいと張り切っています。ご期待ください。これから冷え込みも強まり、風邪やインフルエンザ等も流行する季節となります。11月は、5年緑の学校、6年修学旅行も予定しています。学校では、校医さんのご指導を受け、油断せず感染対策を続けます。ご家族の皆様も健康にご留意いただければと存じます。実りの秋真っ只中、ともに学びを深め、未来を拓こうとする吉浜っ子の育成に努めます。



6年スポーツ大会 フラッグ演技

後期学級委員の任命

11月1日（月）

11月の全校集会で、後期学級委員の任命をしました。学級の代表として選ばれただけあって、どの学級委員も名前を呼ばれた時の返事がすばらしく感心しました。学級委員を中心に学級全員で助け合い、よりすばらしい学級になることを期待しています。

年組	男子	女子	年組	男子	女子
4の1	杉浦 陸斗	杉浦 唯花	4の2	杉浦 良芽	武内 咲希
4の3	野々山裕也	谷口 葵音	4の4	杉浦 朔	篠原 梨乃
5の1	杉浦 駿	内藤 千尋	5の2	善利 珀斗	坂谷 珠子
5の3	佐藤 レオ	由良 水瀬	5の4	松澤 亮治	河合 美音
6の1	渡瀬 来風	杉浦 未宙	6の2	吉田 亮真	篠原 優乃
6の3	都築 功季	伊藤 綾那	6の4	ゲントックダット	筒井 心美

菊人形づくり

11月2日（火）

4年生は、吉浜まちづくり協議会の伝統文化グループの方々のご指導の下、今年の菊人形づくりのテーマ「高浜伝統発掘祭～ワクワクドキドキ高浜の伝統文化～」として、神馬、おまんこ、射放弓、吉見喜左衛門（射放弓の先駆者）の4体の菊人形を制作しました。高浜の伝統文化に興味をもった子どもたちは、自分たちで伝統文化を調べ、菊人形のデザインも子どもたちで考えました。制作当日は、吉岡市長様も激励に訪れ、ケーブルテレビも取材に来校しました。制作後の振り返りでは、「楽しかった。またやりたい」「菊玉のコケがぬるぬるしたけど、できて嬉しい」等の感想の発表がありました。これらは6日（土）から14日（日）の菊まつりで吉浜駅付近に展示されます。その後、子どもたちの有志とまちづくり協議会の皆さんで細工人形に生まれ変わります。



1組 神馬



2組 おまんこ



3組 射放弓



4組 吉見喜左衛門

学校生活から



1年音楽 リズムに合わせて



1年生活 秋の楽しさ発見



2年算数 かけ算をカードで暗記



2年図工 スクラッチを美しく



3年算数 コンパスで円を描く



3年総合 安全第一に車椅子体験



4年総合 指先を使ってコグトレ



4年書写 一筆ずつ集中して「竹笛」



5年総合 みんなで協力して稲刈り



5年家庭 慎重にミシン縫い



6年図工 守り神シーサー制作



よしのめ 楽しいハロウィン

おめでとう

☆3R促進ポスターコンクール

佳作 3年 久須美 葵央

☆税に関する習字

愛知県納税貯蓄組合連合会優秀賞 6年 小原 蒼人

☆みかわ彩発見絵画コンクール

佳作 6年 小原 蒼人 奨励賞 2年 杉浦 睦実

☆第29回春日の森 市民俳句の集い

文化協会会長賞 6年 川崎 柊

6年 牧 真仁

文化協会奨励賞 6年 新実 詩織

6年 田中陽路里

6年 河口マテウス

6年 木村芽彩人

5年 野々山琴美

5年 長谷川 唯

5年 高橋 莉子

5年 栄口 哲聖

「青い空雲がポツンと一人っ子」

「雪化粧窓から見えたぼくの町」

「競争だながしそうめんあままって」

「夕立ちで軒下誘われパン屋知る」

「せみたちがみんな泣いて過ごしてる」

「母の声セミにも負けずいい勝負」

「せせらぎに森の緑がうつてる」

「クリスマス音と色のカーニバル」

「もくもくとにゅうどうぐもせいぞろい」

「海のすななみがつたえるうみの声」

吉小だより

学校通信 第11号
令和3年12月6日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

授業参観ありがとうございました。

11月20日（土）小春日和の中、早朝より、授業参観と6年ミニコンサートに大勢の保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。子どもたちは、とても嬉しそうに、日頃の学習の成果を発揮しようと張り切っていました。6年ミニコンサートでは、ボディパーカッションによる発表で、新しい音楽の魅力をお楽しみいただきました。そして、本校卒業生の神谷紘実さんによるマリンバ演奏が花を添え、6年生に未来へのエールを送ってくれました。子どもたちは、行事のたびに達成感や成就感を実感し、努力することの大切さや仲間の尊さを学びます。そして多くの人と関わることで新たな発見や気づきを得て、極上の笑顔を見せます。人との関わりはどの子にも豊かな成長を促します。第6波の懸念もありますが、引き続き感染対策を続けながら子どもたちの学びを推進します。今後とも保護者の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。



6年1組 「Pretender」



6年2組 「彼こそが海賊」



6年3組 「夜に駆ける」



6年4組 「千本桜」



本校OBマリンバ奏者神谷紘実さん



5年家庭科 我が家の味噌汁



4年国語 親子で百人一首



3年道徳 心をみがく



2年国語 たからものをしょうかい



1年算数 10からひく ひき算



よしのめ音楽 ハンドベル演奏発表

5年生 絆を深めた緑の学校

5年生は、11月22日（月）に「旭高原少年自然の家」に行きました。あいにくのお天気でしたが、午前中は体育館で学級ごとのスタンプ発表会、室内での弁当、思い出のクラフトづくりなど、予定した活動を全て無事終わることができました。クラフトでは、ウッドスプーン作りに挑戦し、さっそく完成したウッドスプーンでヨーグルトを食べました。今年度もコロナ禍のため日帰りとなりましたが、充実した活動ができ、学年学級の仲間との絆を更に深めることができました。また、紅葉が最高に美しく、子どもたちが「虹の学校」と呼び合うほど、特別な緑の学校となりました。保護者の皆様には準備や送迎等、多くのご協力をいただきました。ありがとうございました。



スタンプで学年学級が一つに



ウッドスプーン完成

6年生 感動にあふれた修学旅行

6年生は、11月30日（火）、12月1日（水）に、修学旅行で紅葉真っ盛りの奈良と京都に出かけました。初日は、法隆寺、東大寺、奈良公園で鹿とふれあい、宇治平等院を見学した後、旅館に入りました。旅館では伝統芸能の舞妓さんの舞踊を楽しんだ後、お家の方からの手紙を読み涙する子があふれました。翌日は二条城、清水寺、買い物を楽しみ、黄金色の金閣寺を最後に、本物のすごさに圧倒されながら帰路につきました。今年は宿泊ができ、仲間のすばらしさを再確認する大切な思い出がたくさんできました。進取協働を心がけてきた6年生の集大成であり、心に一生残る宝物の修学旅行となりました。保護者の皆様のご協力に深く感謝します。



宇治平等院にて みんなでポーズ



輝く金閣寺に感動

学校生活から



1年から6年へ 秋と一緒に楽しもう



2年から4年へ ペアで動物クイズを出題



日本語教室 誕生日カレンダー作り



3年福祉実践教室 車椅子学習



3年認知症サポーター養成講座



4年エコ学習 地域の方の人形劇



4年エコ学習 エコたんがやってきた



よしのめ自立活動 朝食の撮り方



よしのめ音楽 ハンドベル練習

吉小だより

学校通信 第12号No.1
令和3年 12月23日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

よいお年をお迎えください。

先日の懇談会には、お忙しいところご来校いただきありがとうございました。今年もコロナ禍の1年ではありましたが、これまでの学習や行事などを通して、お子さんが成長されたことをお伝えできたことと思います。これも保護者の皆様方の温かいご支援とご協力の賜物です。ありがとうございます。

明日からの冬休みは、ご家族一緒にクリスマスや年末年始の行事を過ごしていただき、子どもたちには家族の一員として、家のお手伝いがしっかりできるようになってほしいと思います。寒さも厳しくなります。健康には十分留意して、元気に冬休みを過ごしてほしいと思います。1日も早いコロナの終息を願い、来年がよい年になりますよう祈念しております。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。



よしのめ クリスマス会 楽しいね

熱戦の学年持久走記録会

12月初旬に、各学年で持久走記録会が行われました。どの子も自分のペースを意識しながら記録を更新しようと一生懸命に走る姿がすばらしかったです。今年11月から体育の授業で、自分のペースで長い距離を走る練習を続けてきました。更に、自主的に練習をする子もいました。当日は練習の成果を発揮しようと、どの子も力一杯走り切りました。また、学年みんなで応援し合う姿は、とてもさわやかでした。走った後は達成感でいっぱいになり、気持ちのよい汗を流しました。これからも寒さに負けない強い体づくりを目指します。冬休みもよく体を動かし、風邪やコロナにも負けないよう体力向上に努めてほしいと思います。



6年 スタート



1年 女子



2年 男子



3年 女子



4年 男子



5年 女子



6年 どんどんチーム

学校生活から



よしのめ 落ち葉拾いありがとう



日本語教室 日本の干支と風習を学ぶ



1年体育 ホールけり運動で勝負



1年図工 クリスマスリース完成



2年 おもちゃランドへようこそ1年生



2年算数 三角定規を使って考える



2年音楽 鍵盤ハーモニカでカエルのうた輪奏



3年体育 長縄跳びで一致団結



3年理科 日光の進み方を鏡で実験



4年体育 学級対抗長縄跳び大会



4年英語 お買い物ゲームを発表



4年総合 南海トラフ地震の被害予測



5年英語 英会話でふるさと自慢



5年理科 人の誕生の学習



5年書写「春の足音」書き初め練習



6年 プログラミング学習でロボット操作



6年家庭科 ゆで卵の調理実習



6年 市税務ご担当による租税教室

吉小だより

学校通信 第12号No.2
令和3年 12月23日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りを持ち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

○ともに学びを深めようとする子

○主体的に活動できる子

○感謝する心をもつ子

持久走学年記録会の結果

学年	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
1年	内藤 智也	鈴木 陽瑛	高島 瑞喜	長谷川大騎	加藤 悠	加藤 朝陽	中川 朝陽	中野 芯哉	三浦 結真	梅木 基成
	小池 藍莉	鬼松ユウナ	寺島なつな	中川 和歌	中川 知咲	竹下 唯佳	馬場 聖絆	花井 怜彩	森 由奈	石川乃野果
2年	竹本 類	鈴木颯太郎	濱崎 翔生	酒井 康允	杉浦 啓	柴田 拓音	杉浦 蒼大	山上 琉馬	佐藤 漸	梅田 樹
	松下 莉乃	加藤いおり	松下 結乃	中川真生子	長尾 柚希	神谷 朱音	黒田 杏	綾城瑠々愛	杉村 来夏	糟谷 柑奈
3年	畑 龍志郎	久須美葵央	桐原 悠真	松尾 大葵	川間 龍希	神谷 丈成	横井 成季	大塚 凜空	千賀 允道	百瀬 智広
	長谷川琳音	坂本 陽莉	藤吉 唯夢	渡瀬にっき	牧野 桃佳	榊原 彩心	寺島 れな	野々山侑花	花井 萌彩	廣重 心愛
4年	内藤 陽向	竹本 悠	野々山裕也	三浦 永仁	高橋 智哉	杉浦 良芽	宇津木 颯	鈴木 翔太	都築 建人	村瀬 結人
	神谷 芽依	深津 風香	王子 愛望	岩月 美琴	南條 奏音	篠原 梨乃	中村莉緒奈	大塚 樺音	藤田 結月	加藤 凜乃
5年	堀 大河	谷口 和来	中川 真志	早川 幸輝	中川 真太	内藤 大護	平川 昂	加藤慎之助	早川 太恩	野田 蛍斗
	中野 美和	清水 里乙	清水 万央	徳永帆乃果	山西 杏奈	野々山琴美	瀧本 彩葵	梅田 紗良	柴田 夕奈	花井 乃彩
6年	1位 渡瀬 来風	2位 樋口 栞平	3位 久須美陽生	4位 近藤 快郁	5位 野々山蒼太	6位 濱武 奏	7位 内藤 暁	8位 田中陽路里	9位 綾城 琉生・杉浦憂志朗	
	1位 酒井 紅衣・神谷 優芽		3位 西村 汐織	4位 馬場 柚希	5位 榊水 彩那	6位 新美 咲季	7位 伊藤 綾那	8位 野田 萌生	9位 橋谷 結月	10位 奥村 綺麗

意見発表

12月23日(木)全校集会にて、1年 神谷晴香さんが、意見発表をしました。

1ねん生になってがんばったこと

1ねん1くみ かみや はるか

わたしは、1ねん生になってから1ばんがんばったことがあります。それは、生かつでべんきょうした、あきのたのしさはっけんです。さいしょは、どんぐりごまやマラカスなど、じぶんのすきなものをつくって、あそびました。じぶんでつくったものであそぶのはとてもたのしくて、もっといろいろな人にしてほしいとおもいました。みんなでかんがえて、6ねん生にあきのたのしさをつたえようときめました。そのとき、わたしはやるぞというきもちになれました。

わたしのチームはゆうえんちをつくりました。ゆうえんちにはロボットとローラーすべりだいとクレーンゲームがあります。あそびにきてもらったら、100えんけんとどんぐりをわたしてゆうえんちであそびます。

6ねん生のおにいさん、おねえさんがよろこんでくれてうれしかったです。そして、6ねん生とあそんだことはわすれません。

だって、わたしがあきのたのしさがわかった日だからです。

1月からいろいろなたのしさがはっけんできるようにがんばりたいです。

おめでとう

○高浜市こども食育推進協議会

ベストカワラッキー賞 5年 板倉 暖己 6年 小原 蒼人

カワラッキー賞 2年 加藤 陽向 5年 小野田一瑠 6年 千賀 小路

フレンズ賞 3年 千賀 允道 2年 鐘 一希 4年 加藤 晴真

○赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

書道の部 優秀賞 5年 尾崎 丈流 ポスターの部 優秀賞 3年 村田 朱音

○J A 共済 小中学生書道・交通安全ポスターコンクール

ポスターの部 銀賞 6年 小原 蒼人

吉小だより

学校通信 第13号
令和4年 1月18日

吉浜小学校の目指す子ども像

ふるさとに誇りをもち、ともに学んで未来を拓く吉浜っ子

- ともに学びを深めようとする子
- 主体的に活動できる子
- 感謝する心をもつ子

今年もよろしくお願いたします。

2022年（令和4年）、寅（とら）年が始まりました。新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が懸念される中でのスタートでした。子どもたちは、そんな不安を吹き飛ばすように、元気に学校生活を送っています。嬉しい限りです。子どもたちは、冬休みをご家族とともに楽しく過ごしたようで、思い出話に花を咲かせていました。1月11日（火）から給食も始まり、本格的に授業が始まりました。授業では、どの子も新年を迎え清々しい気持ちで、臨んでいます。

明後日は大寒です。今年は既に真冬の寒さが続いています。これからが1年で最も寒い季節です。今後も感染症対策をしっかりと行い、感染防止に努めてまいります。風邪やインフルエンザ等も含め、ご家庭でもお子様の健康には十分ご留意いただき、充実した学年のまとめと次の学年への準備ができますよう、ご協力をよろしくお願いたします。



市児童生徒美術展

かわら美術館にて、1月8（土）9日（日）に、高浜市児童生徒美術展が開催されました。昨年は開催されなかったため、美術展を待ちこがれた大勢の参観者で賑わいました。1年から6年までの各学年の作品は、美しく丁寧に制作された力作揃いで、見応えがあるものばかりでした。素敵な作品に、驚いたり魅せられたりして、個性あふれた美を堪能しました。



上から 5年 『わたしのおすすめ』
4年 『へんとこ山の物語』
2年 『大きくそだて、びっくりやさい』
机の上 3年 『トントンくぎうちココロビー玉』



1年 『のばしてぺったん』



6年 『シーサー』

書き初め一筆入魂

1月11日（火）に、伝統行事である書き初め会を行いました。凛とした空気の中、子どもたちは、集中して書き初めに取り組んでいました。正しく美しい文字が書けますようにと願いを込めて、手本をよく見て、一文字ずつ、一画ずつ、筆順や字形に気を付けて書いていました。これまでの練習の成果を十分発揮できたことと思います。新年に際し、自分と向き合い、心を落ち着かせてじっくり書くことを通して、豊かな心をもつ子に成長してくれることを願います。



低学年 字の形に気を付けて



高学年 筆使いに気を付けて

低学年 字の形に気を付けて 高学年 筆使いに気を付けて

寒さに負けず学習・運動に励む吉浜っ子

子どもたちは、寒さに負けず学習に励んでいます。ともに歩んできた仲間との学級生活に名残を惜しみながら、今年度の学習のまとめと次年度への準備をしています。一年間の子どもたちのめざましい成長ぶりに目を見張る毎日です。



1年書き初め会 一画ずつ慎重に



1年国語 タブレットで昔話を楽しむ



2年書き初め会 手本をよく見て



2年算数 ゲームで九九を学ぶ



3年書き初め会 『げんき』



3年理科 電気を通すものを調査



4年書き初め会 『花さく里』



4年総合 SDGs新聞を作成中



5年書き初め会 『春の足音』



5年体育 学級全員で長縄に挑戦



6年書き初め会 『三河の城』



6年英語 学校の思い出を英文で



生活委員会 あいさつキャンペーン



児童会「マジカルあいさつ」に応募

お知らせ

☆書き初め展(体育館)は19日(水)と20日(木)は8時半から17時まで、21日(金)は8時半から16時までです。ぜひご覧ください。

※感染症拡大防止のため、マスク着用、消毒等のご協力をお願いします。

令和3年度 吉浜小学校 学校関係者評価委員より

5つの方針について

○ 経営方針①「授業力が向上する主題研究体制の構築」について 評価 B

意見・感想等・・・秋の楽しさ発見、どんぐりごまの廻し方など自然の中にある身近な事例を取り上げた課題と思います。素晴らしいと思いました。

○ 経営方針②「目標管理による学年・学級経営の展開」について 評価 A

意見・感想等・・・問題点を抽出しその対策そしてその結果のサイクルを回し、さらに深堀りする手法は多くの企業でも活用されています。

先生方の自己評価で95%の先生が目標達成した事に、意欲を感じました。今後も子供達に良い影響を与えていただきたいです。

○ 経営方針③「児童の主体的な活動を育む支援体制の強化」について 評価 A

意見・感想等・・・総合の取組みで、児童の主体性を感じ取る事ができました。

○ 経営方針④「地域の方々とともに地域愛を育む教育活動の構築」について 評価 B

意見・感想等・・・吉浜地区行事への参加はとてもさかんと理解しています。

早くコロナが完全収束する事を祈っています。

地域素材活用は、定期的な情報収集が必要と思いますし、コロナ禍では難しかったのではないかと思います。

○ 経営方針⑤「教員の業務量の適切な管理等に関する働き方改革の整備」について

評価 B

意見・感想等・・・上記4項目とは少々異なる課題と感じます。私は先生方の抱えられる問題を具体的には存じ上げませんが、行政側にも深く関わるテーマと思います。

過度な精神的苦痛を持たれないよう、またそのために体調を崩されないよう頑張ってください。心の中で応援しています。

タブレット・ずぐー導入で、配布資料が減少し、先生方や児童間の関わりが増えた事が良かったと思います。ICT活用に慣れれば働き方改革も向上すると思います。

●全体を通しての感想

・自信と希望を持って上級学校に送り出す。そのための基盤づくりが使命である事に改めて感銘を受けました。

・日々いろいろ変化する中、対応しにくいことがあると思います。ご協力できる範囲少ないと思われませんが、協力必要なことあれば、お声がけお願い致します。

・吉浜小学校に直接お伺いできなかったことがとても残念ですが、子ども達や先生方の素敵な姿が伝わってきました。ありがとうございました。

・今後の図書ボランティア読み聞かせの活動について、相談出来るかと有難いです。

Q&A

Q 文中にありますロイドノート、コグトレ、四色板書、マジカル挨拶、キャリアパスポートとありの意味を教えてください。

A 【ロイドノートについて】

昨年度から全校児童にタブレットが配付され、ICT活用が進んでいます。ロイドノートはタブレット上にあるノートです。紙のノートと同じように自由に手書きできますし、このように文字を打ち込むこともできます。色づけや写真の貼り付けが簡単にでき、自分で撮影した写真をノートに加工して貼り付けることもすぐにできます。また、紙のノートを見せ合うことができるように、ロイドノートはデータのやりとりができるので全員のノートを共有して見合うことができます。電子黒板に自分で書いたノートを写すことも簡単にでき、書き込んだり、消したり、切ったり、貼ったりがすぐにできます。先生からプリントを紙でもらうのではなく、データでもらい、書き込んで提出することもできます。また、だれが提出しているのか一目でわかります。学校ではロイドノートと紙のノートを併用して使っています。

【コグトレについて】

一部の教師が取り入れています。まだ勉強途中ですが、人とのコミュニケーションがうまくとれるようにと行っています。覚える、数える、写す、見つける、想像するという5つの力を伸ばす紙と鉛筆を使った訓練です。

【マジカル挨拶について】

児童会が考えた企画です。挨拶から連想する言葉を考えて投票箱に入れ、それらを書き出し続けて挨拶の力を確認しよう!という取り組みです。あいさつーうれしいーあたたかいーハッピーーがんばれるー成長する などのように木が枝を広げるようにイメージをどんどん広げていく取り組みです。

【キャリアパスポートについて】

小学校から高校まで持ち上がっていくファイルです。小学校の内から将来のことを考え、今できることを考える力を養うため考え出されたものです。総合的な学習の授業や行事で学んだことをプリントにまとめてファイルしていきます。思い出アルバムに自分の具体的な目標、足りない部分、成長した点が変わったようなものです。中学校では様々な職業についても知識を広げ、働く意義を考える授業も行います。小学校のうちは、行事の前と後で目標とそのふり返りをして感想などを書き、次につなげます。年の最後に家に持ち帰って保護者に見せて再び翌年学校に持ってきます。

Q 教科横断的視点と対話欲求を生み出す意図的な授業構成とは、毎授業で行っているのですか。

A 単元構想を作成するときに教科間の関連や学校の教育目標とのつながりを考えます。例えば児童の言語能力の向上を目標にする時、国語科を中心とし、他教科でも言語能力育成の機会を設けるために、目標を意識した計画をたてます。

大切なことは、子ども自身が意識して、国語科と他教科で学んだことをつなげ、身につけた力をいろいろな場面で活用できるようになること、その成長を自覚することです。